

令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団

令和5年度東京都社会福祉事業団事業報告書

目次

1	令和5年度東京都社会福祉事業団事業報告書	1
2	令和5年度東京都石神井学園事業報告書	54
3	令和5年度東京都小山児童学園事業報告書	66
4	令和5年度東京都船形学園事業報告書	80
5	令和5年度東京都八街学園事業報告書	91
6	令和5年度東京都勝山学園事業報告書	103
7	令和5年度東京都片瀬学園事業報告書	113
8	令和5年度東京都七生福祉園事業報告書	125
9	令和5年度東京都東村山福祉園事業報告書	142
10	令和5年度東京都千葉福祉園事業報告書	155
11	令和5年度東京都八王子福祉園事業報告書	172
12	令和5年度立川療護園 はごろもの音事業報告書	187
13	令和5年度希望の郷 東村山事業報告書	200

東京都社会福祉事業団

事業報告書

令和5年度東京都社会福祉事業団事業報告

I 事業団運営施設

事業団は、児童養護施設6施設、障害施設4施設（うち2施設は児・者併設）、計10の都立施設について、指定管理者として管理運営している。

また、自主運営施設として、立川療護園 はごろもの音（旧・日野療護園）、希望の郷 東村山の2施設を運営するとともに、共同生活援助事業等の自主事業を実施している。

【指定管理施設】

＜児童養護施設：6施設＞

東京都石神井学園	令和2年度から令和11年度まで (第5期指定管理期間)
東京都小山児童学園	
東京都船形学園	令和3年度から令和7年度まで (第6期指定管理期間)
東京都八街学園	
東京都勝山学園	
東京都片瀬学園	

＜福祉型障害児入所施設：3施設＞（うち2施設は障害者支援施設との併設）

東京都七生福祉園（併設）	令和3年度から令和7年度まで (第6期指定管理期間)
東京都千葉福祉園（併設）	
東京都東村山福祉園	令和5年度から令和9年度まで (第6期指定管理期間)

※七生福祉園及び千葉福祉園については、18歳以上の入所者がいるため、障害者支援施設としての指定を併せて受けている。

＜障害者支援施設：3施設＞（うち2施設は福祉型障害児入所施設との併設）

東京都七生福祉園（併設）	令和3年度から令和7年度まで (第6期指定管理期間)
東京都千葉福祉園（併設）	
東京都八王子福祉園	

【自主運営施設】

＜障害者支援施設：2施設＞

立川療護園 はごろもの音
希望の郷 東村山

【自主事業】

＜共同生活援助事業（グループホーム）＞（ ）はユニット

あおば〈七生福祉園〉 （あおば、あすか、のぞみ1、のぞみ2、らいふ、みらい1、みらい2）
きらり〈希望の郷 東村山〉 （きらり、ウィズ、どらやき、けやき、かえで）

＜一般相談支援事業＞

相談支援ステーションほたる 〈立川療護園 はごろもの音〉	相談支援室ポレポレ 〈八王子福祉園〉
---------------------------------	-----------------------

＜特定相談支援事業＞

ここななお 〈七生福祉園〉	東村山相談支援事業所 〈希望の郷 東村山〉	相談支援ステーションほたる 〈立川療護園 はごろもの音〉
相談支援室ポレポレ 〈八王子福祉園〉	相談支援事業所 ふわり 〈東村山福祉園〉	

＜障害児相談支援事業＞

相談支援事業所 ふわり 〈東村山福祉園〉

Ⅱ 事業実績

令和5年度は、次の4点に重点を置いて施設運営を行った。

- 1 利用者・児童の権利擁護及び最善のサービスの提供**
- 2 支援技術の蓄積及びそれを活かした高度なケアの提供**
- 3 施設機能を活用した地域等との連携**
- 4 運営体制の強化及び経営の透明性確保**

事業団「経営理念」に基づき策定した、事業団第Ⅱ期中期経営計画（以下「第Ⅱ期計画」という。）の4年目となる令和5年度は、第Ⅱ期計画で定めた3つの経営理念及び4つの中長期経営目標を踏まえ、都立施設の指定管理者並びに自主運営施設の経営者として、障害施設及び児童養護施設の運営に万全を期すとともに、利用者本位のサービスの徹底と児童一人ひとりに寄り添った支援を行った。また、東京の福祉のセーフティネットとしての役割を果たすとともに、施設機能を活用し、地域との共生を推進した。

第Ⅱ期計画においては、「虐待防止や利用者・児童の意思を尊重した支援など権利擁護の徹底」を重点的取組の第一に位置づけており、これまでの取組内容の充実や

継続実施に加え、外部専門家による施設コンサルテーションを拡充するなど、支援技術を向上させるとともに各施設における虐待防止体制を整備するため、管理監督者の組織・リスクマネジメント能力の向上を図った。各施設では「重大事故ゼロ運動」として、マルトリートメント（不適切な養育）防止等の研修や管理監督者による職場巡回を行ったほか、職員一人ひとりが虐待等防止に主体的に取り組む個人目標を設定しPDCAサイクルを実施するなど、事業団を挙げて事故防止に向けた取組を実施した。

質の高い人材の安定的な確保に向けて、刷新したパンフレット・動画を活用し、新たな人事給与制度・給与水準、仕事の魅力・やりがい等を学校訪問や採用説明会、各種イベント等で積極的にPRして採用活動を行った。また、学生の就職活動時期を踏まえて、定期の採用選考の実施時期を見直すとともに地方出身者の上京費用を支援する「地方上京パッケージ」を活かし、首都圏以外の地域の採用活動も積極的に展開した。さらに、学校推薦制度や実習生等特別制度について、学校との連携強化等を図るとともに、採用時の丁寧な配属先マッチングや継続的なフォローなど離職防止・定着に向けた取組を充実させた。

高い専門性を発揮できる職員の育成については、「事業団人材育成方針」に基づきOJTや研修等をはじめ、職員の能力開発と意識改革に取り組んだ。

介護見守りセンサーなど次世代介護機器等を積極的に導入し、利用者のQOL維持・向上を図るとともに、職員の負担軽減を図り、働きやすい職場環境の整備を進めた。

施設機能を活用し、地域の子育て家庭などを支援する子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）の実施や、地域の障害者の自立の支援を目的とした授産事業地域連携システムの運営、春季・夏季・冬季の学校休業期間の障害児の日中活動の場を提供する日中一時支援事業などの実施により地域との連携を図った。

さらに、大規模な災害が発生した場合を想定し、事業継続計画（BCP）及び対応マニュアルに基づく訓練を行ったほか、地域の総合防災訓練等への参加など地域との協力体制構築に取り組んだことに加え、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対し、職員の派遣を行った。

また、第Ⅱ期計画において社会的ニーズを見通した施設の改築として位置付けていた日野療護園は、令和5年5月に「立川療護園 はごろもの音」として運営を開始し、東村山福祉園は令和5年6月に移転が完了し、新設建物での施設運営が新たにスタートした。

そのほか、東京の福祉の増進に寄与する先駆的取組として、石神井学園では、虐

待による重篤な愛着障害の症状等を有する児童に生活支援・医療・教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能モデル事業」を実施し、都と連携して効果検証や課題把握に努めた。

※ 以下、各事項のアクションは、第Ⅱ期計画に掲げた目標ごとのアクションを記載している。

1 利用者・児童の権利擁護及び最善のサービスの提供

(1) アクションⅠ－① 権利擁護（虐待防止等）の徹底

事業団虐待等防止委員会において各施設における事案や取組を共有・検証することにより、各施設の危機管理意識・人権意識の強化を図った。研修では、全職員が必ず年1回受講するe-ラーニングの虐待防止（総論）研修、直接支援職員等が事例研究等を行う虐待等防止（児童養護、障害者(児)別）研修(3年に1回の悉皆)に加え、虐待発生に伴う法的・経営的リスクを踏まえた組織・リスクマネジメントについての管理監督者向け研修を実施した。また、新たに、感情コントロール技法を学ぶアンガーマネジメント研修を全職員悉皆で実施した。

また、過去に事業団で発生した事案について、背景や問題点、再発防止策や処分内容等を明示した「虐待事案の事例集」を各園に周知し、職員一人ひとりの意識啓発を図るとともに、風通しが良く相談しやすい職場づくりに向け、管理監督職による夜間巡回や、全職員アンケートを踏まえた施設ごとの意見交換会を実施した。さらに外部専門家によるコンサルテーションやスーパーバイズを活用し、職員の支援技術の専門性を一層向上させ、事業団全体で利用者・児童の権利擁護の推進と安全・安心な生活の確保に取り組んだ。

各施設においては、施設ごとの状況に応じて「重大事故ゼロ運動」に掲げた取組を着実に実施するとともに、虐待防止マネージャー等が中心となって現場職員一人ひとりの取組状況等を確認するなど、不適切な対応は小さな芽のうちに気づき、組織的に対応することを徹底した。

(2) アクションⅠ－② 利用者・児童等からの要望や苦情への適切な対応

福祉サービス第三者評価の受審や苦情相談のための第三者委員の設置・活用などにより、各施設で提供しているサービスを客観的な視点から検証、評価する体制を整備し、更なる改善の取組を進め、利用者・児童の意見や要望等をサービスに反映し、利用者・児童の満足度の一層の向上を図った。

■ 福祉サービス第三者評価の活用

令和4年度の指摘事項について改善に取り組むとともに、令和5年度も全施設において受審した。

受審結果を踏まえた改善を行い、常に第三者の視点からサービスの点検・評価

を受け、その結果を踏まえて改善を行うPDCAサイクルを定着させることにより、より開かれた施設運営と、サービス水準の向上を図った。

■ 苦情解決制度等の充実

第三者委員による定期的な相談の実施や適切な苦情対応など、利用者・児童が施設に対して意見や苦情を伝えやすい環境を整備するとともに、苦情に対する迅速な対応、利用者・児童からの意見のサービスへの反映に取り組んだ。

■ 利用者満足度調査の実施

各施設のサービスについて、施設独自の利用者満足度調査を全施設において実施し、利用者の率直な意見や要望等を把握した。利用者が満足できる生活の実現を目指し、これらの利用者の声を十分に踏まえたサービスの向上や改善に取り組んだ。

(3) アクションⅠ－③ リスク管理の推進

■ リスクマネジメントの徹底

日々の支援等の記録を適切に残すことやヒヤリ・ハット事例の収集・検証が事故防止のために重要であることを周知徹底するとともに、各施設のリスクマネジメント委員会等でヒヤリ・ハット事例の検証等を行い、事故等の未然防止に努めた。また、感染症や食中毒の発生を防止するため、予防策を徹底するとともに、マニュアルの充実や救命救急講習の受講等により急病急変時に迅速かつ適切に対応できる体制整備を図った。

事故が起こった場合は、利用者・児童の安全確保や権利保護を目的として設置している見守りカメラ等を活用し、迅速かつ適切な対応とともに、事後検証を行い、原因の究明や問題点への対応の見直しを図り、再発防止を徹底した。

■ 感染症対策の徹底

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行されたあとも必要に応じてマスクや消毒等の基本的な感染防止対策を行いインフルエンザウイルスやノロウイルス等も含めた感染症対策の徹底を図った。

また、クラスターが発生した際も、関係機関とも連携し、PPE 着脱の徹底などにより、感染拡大防止を講じながら利用者・児童への支援を継続した。

■ 個人情報保護、情報セキュリティ対策の徹底

個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）、事業団個人情報保護規程及び事業団情報セキュリティ対策基準等を遵守し、各施設に情報セキュリティ責任者を配置するとともに、チェックリストによる自己点検の実施等により、

個人情報の適正な管理を徹底した。また、研修を通じて職員にコンプライアンス意識の浸透を図った。

(4) アクションⅠ－④ 利用者・児童の人生の選択肢を広げる支援

利用者本位のサービスの徹底と一人ひとりに寄り添った支援を実現するため、各職員が連携・協力しながら、安全・安心の確保を図るとともに、利用者・児童一人ひとりに向き合い、その個性や主体性を尊重したサービス・支援を提供した。

■ 児童養護施設における取組

児童一人ひとりの希望や個性を大切にし、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育んでいくことができるよう質の高いサービスを提供した。

- ・ 児童が、安心して生活し、職員との愛着関係を育み、大切にされているという実感が持てるように、家庭的な寮（棟）運営やグループホームの円滑な運営等を推進した。
- ・ 個々の児童の意向や課題を踏まえた自立支援計画に基づき、児童相談所、学校、病院等の関係機関との連携を図りながら、家庭復帰や社会的自立に向けて、きめ細かな支援を行った。
- ・ 被虐待児や発達障害児、高齢児が増加していることを踏まえ、心理的療法やCAP（子供への暴力防止プログラム）、CARE（子どもと大人の絆を深めるプログラム）の活用等、専門的な支援の充実を図った。
- ・ 保護者との信頼関係を築くとともに、親子宿泊や一時帰宅など家庭との交流を図り、親子関係の再構築を着実に推進した。また、家庭支援専門相談員を中心として、児童・保護者の意向確認や、児童相談所、学校等関係機関との連絡調整、家庭訪問等を実施し、親子関係再構築支援に取り組んだ。
- ・ 卒園した児童の社会的自立を支援するため、居住費支援制度を活用するとともに、事業団独自の「退所児童等自立支援基金」を制度改正し、自立支援金の金額引上げや進学応援金の創設により充実を図った。
- ・ 家庭復帰や社会的自立等により退所した児童に対して、自立支援コーディネーターを中心に、メール、LINE、電話等による連絡、必要に応じて役所への申請手続き等への付き添いなど、退所児童の状況に応じてアフターケアに取り組んだ。

■ 障害施設における取組

利用者が安心して生活し、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう質の高いサービスを提供するとともに、安全・安心な施設環境の整備に努めた。

- ・ 利用者が、安心して生活するとともに、自立した日常生活や社会参加がで

きるよう、希望する生活や課題を丁寧に把握した上で、個別支援計画を作成し、個々の状況に応じた質の高いサービスを提供した。

- ・ 利用者の高齢化や障害の重度化に対応するため、医療的ケアの提供、理学療法等の訓練を実施するとともに、心理療法等の専門的支援や個別支援を充実した。
- ・ 地域生活を希望する利用者に対し、関係機関と連携して必要な支援を積極的に行うとともに、居住の場を確保し、家事援助や介護支援等を提供した。
- ・ 障害児入所施設においては、重度の障害があっても地域で安心して生活できるよう関係機関と連携し地域移行を進めたことに加え、自立生活が可能と見込まれる障害児に対しては自活訓練を継続実施し、過齢児を含む障害児の地域生活等への移行を推進した。
- ・ 通所サービスやショートステイ等の実施により地域で生活する障害者の生活を支えるとともに、相談支援事業により、入所施設や精神科病院等からの退所・退院に向けた地域移行・地域定着を推進した。

(5) アクションⅠ－⑤ 社会需要も見通した施設の改築・改修 (アクションⅡ⑤の再掲)

小山児童学園は、老朽化した建物の改築に向け、基本設計の検討等を進めた。また、八王子福祉園は、本設の改築工事の検討と並行して、工事期間中の移転先となる仮設建物のレイアウト図の製作など、必要な検討を進めた。千葉福祉園についても、令和5年度に改修工事に係る基本計画を策定し、都と連携して必要な調整を図った。

2 支援技術の蓄積及びそれを活かした高度なケアの提供

(1) アクションⅡ－① 高い専門性を発揮できる職員の育成 (アクションⅠ⑦の再掲)

アクションⅡ－④ 質の高い人材の確保・定着 (アクションⅠ⑥の再掲)

都派遣職員の退職・派遣解消等にも対応するため、質の高い人材の安定的な確保に向けた取組を継続・充実させており、採用数の増加と離職率の低下により欠員の解消が進んだ。また、高い専門性や職級に応じたスキルを備えた職員を育成するため、令和4年3月に改定した人材育成方針及び研修計画に基づき、①職務を通じたOJTの推進、②計画的かつ効果的な研修の実施、③自己啓発支援制度、を3つの柱として人材育成にも取り組んだ。

各施設においては、施設全体でOJTを推進する体制の構築に努めるとともに、施設の実態を踏まえた独自の研修を充実強化し、これまで蓄積してきた利用者・児童支援のノウハウを若手職員に早期に引き継ぎ、サービス提供の中核を担う職員の育成を図った。

■ 質の高い人材の確保・定着対策の充実

質の高い人材を安定的に確保していくため、刷新した事業団パンフレット・動画を活用し、新たな人事給与制度・給与水準、仕事の魅力・やりがいを採用説明会や学校訪問時に積極的に発信した。

また、学生の就職活動時期を踏まえて、採用選考の実施時期を５・６・７・９・１０・１１月の６回に見直すとともに、キャリア採用や再採用など多様な採用チャネルによる通年採用も実施した。加えて、実習受入校を中心に学校との連携強化により採用実績を増加させた。さらに、地方出身者の上京費用を支援する「地方上京パッケージ」を活かし、地方の学校への訪問や地方イベントへの出展など、首都圏以外の地域での採用活動も広く展開した。併せて、千葉県に複数の施設があることから、千葉エリアの学校への事業団のＰＲに幹部職員が訪問・同行する等、千葉エリアにおける採用活動も強化した。

人材の定着のため、新たな給与制度をわかりやすく現場職員に発信するとともに、人事委員会勧告等を踏まえた給与改定など継続的な給与改定を実施した。また、定年の引上げを行うことで職員が６０歳を超えても正規職員として働けるよう制度改正したほか、令和４年度末に導入した自己啓発等休業制度や配偶者同行休業制度を活用し、海外留学のため離職予定であった職員の慰留に繋がった。さらに、令和４年度に実施した「職員満足度アンケート」の結果を集計・分析し、各園に離職防止の参考資料として結果をフィードバックするとともに、２回目となる職員満足度アンケートを実施した。新規採用職員に関しても、早期離職を防止するため個別フォローに努めている。

■ ＯＪＴ推進体制の強化

各施設に配置したＯＪＴ推進担当者及び新任職員育成担当者（チューター）が積極的に活動することで、人材育成の基本であるＯＪＴの推進に事業団全体で取り組んだ。

新任職員の育成を図るため、新任職員の育成の中核を担うチューターに対する研修について、年間を通じた育成手順や効果的な指導方法などを議論させることで、より効果的な育成を図った。

■ 計画的・効果的な研修の実施

「事業団人材育成方針」に基づき、職級に応じた育成目標を明確にし、体系的な研修を行った。また、児童養護施設・障害者（児）施設別に作成した「業務の手引き」を見直し、施設でのＯＪＴやＯff-JTでの活用に供した。

新人から中堅職員へ移行する３年目職員に対して、中堅職員として求められる役割や考え方を学ぶ研修を新たに実施した。

サブマネージャー現任研修は、グループリーダー等として求められる、現状分析や課題把握力、解決策の立案力などを学ぶことのできる機会として実施した。

■ 高い専門性を発揮できる職員の育成

各施設において、個々の利用者に応じた質の高いサービスを提供するため、高度な専門的支援技術やノウハウを身に付けた職員を計画的に育成した。

東村山福祉園は重度・最重度の知的障害児を、八王子福祉園及び希望の郷東村山は、重度・最重度の知的障害者を受け入れている。中でも、高度な専門的支援技術・ノウハウが必要な強度行動障害を有する児童や利用者を多く受け入れているため、強度行動障害従事者研修(基礎・実践)の受講者を計画的に増やすとともに施設コンサルテーションの横展開を図った。

立川療護園はごろもの音（日野療護園）及び八王子福祉園においては、利用者の高齢化等に対応するため、たんの吸引をはじめとした医療的ケアができる福祉職を計画的に育成した。

■ 自己啓発支援制度、奨学金支援制度の効果的な活用

職員の「自ら育つ」意識を引き出し、自己啓発の機運を高め、自学を促す職場風土を醸成するため、自己啓発支援制度を積極的に活用し、介護福祉士や公認心理師等の職員の資格取得や通信教育講座等の受講を支援した。

また、大学・専門学校等で貸与型奨学金を得て就学し、福祉資格を取得して当事業団に福祉職として採用された 5 年目までの職員に対し、奨学金返済を支援し、人材の確保・定着を図った。

■ 支援技術の共有化及び活用促進

事例研究発表会はオンライン開催とし、当日参加できなかった職員に動画で発表内容を視聴できるよう工夫を行い、各施設や職員の先進的な取組やノウハウの共有化を図り、事業団全体での活用を促進した。

また、初の試みとして特に優れた発表を表彰するとともに、講評に外部からの視点を入れるため法人外の人材を加えることとした。

■ 外部専門家、外部医師等との連携

困難事例への対応などについて、高い専門性とスキルを備えた外部専門家や経験豊富な職員OBによるスーパーバイズ、職員の悩みや不安を受け止める訪問相談員の設置、医師による巡回相談等を継続するとともに、施設コンサルテーションを拡充し、専門的な支援を要する利用者・児童への適切なアセスメントなど、職員の支援技術の向上や知識の習得を図り、特別な支援が必要な利用者・児童の多様な課題に対応した。

(2) アクションⅡ－② 東京の福祉の増進に寄与する先駆的取組の推進

東京の福祉のセーフティネットとしての役割を引き続き担うため、特別な支援

が必要な児童や利用者・児童を施設機能に応じて積極的に受け入れ、地域の教育機関をはじめ関係機関と連携・協働し、利用者・児童の生活を支援した。また、先駆的な取組を推進し、東京の福祉の増進に努めた。

■ 特別な支援が必要な利用者・児童の受入れ

児童養護施設では、虐待による様々な症状を持つ児童、情緒・行動上の課題を抱える高齢児、他施設での支援が困難なため措置変更された児童等、特別な支援が必要な児童を積極的に受け入れた。

また、障害施設では、最重度障害者や強度行動障害を有する知的障害者等、特別な支援が必要な利用者を積極的に受け入れるとともに、強度行動障害への対応やたんの吸引等の専門的ケアが行える職員を計画的に育成し、セーフティネットとしての機能を強化した。

■ 先駆的な施策の実施

石神井学園では、虐待による重篤な反応性アタッチメント障害の症状等を持つ児童に生活支援・医療・教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能モデル事業」を実施し、東京都や関係機関と連携して事業の検証を行い、原籍施設への復帰を目指す先駆的な施策に積極的に取り組んだ。

(3) アクションⅡ－③ 先進的取組等により蓄積してきた支援技術を他団体へ普及

他の民間法人では受入れが困難な強度行動障害を有する利用者等に対する専門的支援等、事業団施設で蓄積されたノウハウや専門的な支援技術を「強度行動障害支援者養成研修」の講師やファシリテーターとして、職員を派遣するなどにより外部に提供した。あわせて、見学者や将来の福祉人材である実習生を積極的に受け入れ、東京の福祉水準の向上に寄与した。

児童養護施設や障害児入所施設では、児童相談所など関係機関との連携強化が不可欠であることから、児童相談所と相互派遣研修を実施し、施設の状況や支援技術について理解を深めてもらうとともに、事業団職員の支援力の向上を図った。

3 施設機能を活用した地域等との連携

(1) アクションⅢ－① 地域で暮らす障害者・障害児を支援

在宅で生活している障害者（児）とその家族などを支援するため、関係機関等と連携し、通所による生活介護事業や短期入所事業、日中一時支援事業などを実施した。また、立川療護園はごろもの音においては、立川市への施設移転を機に、生活介護・短期入所について、地域のニーズに合わせて一層の充実を図り、地域福祉の向上に努めた。

また、各施設で相談支援事業を行うとともに、計12ユニットのグループホームを運営することにより、地域で生活する障害者（児）を支援した。

（２）アクションⅢ－② 地域における子育て家庭等を支援

地域の子育て家庭などを支援するため、石神井学園では、子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）を実施した。また、それぞれの児童養護施設が有する子育て等のノウハウを公開講座等を通じて提供した。このほか、東村山福祉園では、地域の障害児とその家族への支援をするため、春季・夏季・冬季の学校休業期間の障害児の日中活動の場所の確保、及びその家族の緊急時における一時的な保護や休息を目的として日中一時支援事業を実施し地域の障害児の福祉の推進を図った。

（３）アクションⅢ－③ 地域が求める役割を担い、地域と協働（コミュニティづくりや災害対応等）

■ 地域における公益的な取組

社会福祉法の趣旨を踏まえ、各施設において地域の実情やニーズに応じて、地域で生活する障害者や子育て世帯等を支援するため、片瀬学園では、片瀬地区青少年協力会やPTA、片瀬公民館と協力して、子育て講演会を開催し、また、立川療護園はごろもの音では、社会福祉法人地域貢献活動ネットワークの「ふくしネットたちかわ」に参画するなど、各施設の機能や人材を活用した取組を行った。このほか、千葉福祉園の歯科医師による「咬むことで健康長寿」をテーマとした講習会を実施するなど、地域の公益的な課題に取り組んだ。

■ 多様な主体との連携

NPO、企業、地域他法人等との連携やボランティアの受入れは、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に行い、可能な範囲で実施した。

■ 地域との連携・協力関係の強化

地域の自立支援協議会等への参画や、施設で実施する園祭等の行事など、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、地域と施設の相互交流を再開することができた。

■ 災害・防犯対策の取組強化

大規模な災害が発生した場合においても、利用者・児童や職員の生命及び安全を確保し、かつ、施設機能を維持できるように、「事業継続計画（BCP）及び対応マニュアル」に基づき、定期的な訓練や食糧等の備蓄を確実に引っ

た。

また、事業団全体で初動体制の整備や施設間の連携・協力に向けた合同訓練を実施するとともに、地域との連携を推進しただけでなく、令和6年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に対して、法人全体で11人の職員を被災地に派遣した。

不審者対策等の防犯対策については、警察等と連携して防犯訓練を実施するなど、対応を進めた。

4 運営体制の強化及び経営の透明性確保

(1) アクションⅣ－① 「事業団人材育成方針」に基づく組織・人事制度の運用

「事業団人材育成方針」に基づき、職員一人ひとりの意欲と能力を最大限引き出し、更なる育成が図られるよう、組織・人事制度の運用を図った。また職員の適性や能力等に応じて、管理職層（ジェネラルマネージャー）や監督職層（マネージャー、サブマネージャー）の計画的な任用を進め、法人・施設運営の中核を担う管理監督者ポストへの固有職員の登用を進めた。

(2) アクションⅣ－② 自律的な経営実現のための自主財源の確保

■ 効率的な施設経営の実施等

業務の見直しや契約内容の精査など効率的な施設運営に努めるとともに、自主運営施設・自主事業の経営状況や課題の把握、共有を進めるなど、自立的経営に向けた体制の整備を進めた。また、節電対策や温暖化対策等の環境への配慮や、物価高騰への対応に努めた。

会計監査人による監査について適切に対応し、法人の会計の健全性及び透明性の向上に努めた。

■ 自主財源の確保等

自主運営施設においては、施設入所に欠員が生じた場合は速やかに入所者の検討を行おう務めた。また、立川療護園においては移転に伴い短期入所の定員数が増えたことから、新規利用者の募集を行い、積極的に受入れを行った。

(3) アクションⅣ－③ ICTや次世代介護機器を活用した働きやすい職場環境の整備

事業団全体で、業務システムの統一化を段階的に進め、文書管理システムを全園で稼働した支援記録システムにおいては児童養護施設で稼働・改修が終わり、障害施設の開発に着手するなどICT環境を整備した。各施設では、「眠りスキャン」や「ネック型インカム」等の次世代介護機器等を導入し、業務の効率化や負担軽減を図り、働きやすい職場環境の整備を促進した。

また、5つのレス（はんこレス・FAXレス・ペーパーレス・キャッシュレ

ス・タッチレス）を推進するため、一部規程・様式の改訂や会議方法の見直し、ネット通販の活用等の取組を着実に進めた。

（４）アクションⅣ－④ 魅力とやりがいにあふれる職場環境の実現

職員が意欲を持っていきいきと働き続けられるよう、意見交換会や日頃のコミュニケーションの活性化等による風通しの良い職場づくりを推進するとともに、ストレスチェックの実施などのメンタルヘルス対策により、心身ともに健康に働ける充実した職場環境の整備を図った。

また、職員満足度アンケートの結果を各職場にフィードバックすることにより、職場環境の改善を促した。

（５）アクションⅣ－⑤ コンプライアンスの推進

職員一人ひとりが高い規範意識を持ち、汚職等非行防止はもとより、コンプライアンス研修等を通じて、福祉に携わる者としての倫理観の醸成が図られるよう引き続き取り組んだ。

また、事業団全体のガバナンス強化のために設置した、外部委員を含む事業団コンプライアンス委員会を年２回開催し、重大事故防止に関する取組内容について意見交換する等、事業団全体のコンプライアンスの強化・向上を図った。

Ⅲ 理事会、評議員会の開催状況

1 役員等の状況

社会福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、平成29年4月に定款を変更し、評議員の定数を9人以上11人以内、理事定数を8人以上10人以内、監事定数を2人と規定した。

現在、評議員10人、理事9人、監事2人、評議員選任・解任委員5人が選任され、就任している状況である。

令和6年3月31日現在の役員、評議員及び評議員選任・解任委員は15頁から17頁のとおりである。

2 理事会の開催状況

令和5年度は、定例の理事会を4回（6月、9月、12月、3月）開催した。また、書面によるみなし決議を4回（5月、6月、7月）実施した。

審議事項は、事業計画・報告、予算・決算、諸規程の一部改正などとなっている。

令和5年度の理事会開催日及び審議事項の詳細は、18頁から19頁のとおりである。

3 評議員会の開催状況

令和5年度は、定時評議員会を6月30日に、臨時の評議員会を3月28日に開催した。また、書面によるみなし決議を2回（5月、12月）実施した。

審議事項は、監事の選任等であり、定款の規定に基づき事業計画・報告、予算・決算などについて報告を行っている。

令和5年度の評議員会の開催日及び審議事項の詳細は、20頁のとおりである。

4 評議員選任・解任委員会の開催状況

令和5年度は、評議員選任・解任委員会の書面によるみなし決議を2回（7月、3月）実施した。

令和5年度の評議員選任・解任委員会の開催日及び審議事項の詳細は、20頁のとおりである。

社会福祉法人東京都社会福祉事業団役員名簿

令和6年3月31日現在

	氏 名	現 職	備 考
理事長	やまぎし のりお 山岸 徳男	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団 理事長	令和4年4月1日就任
理 事	ふじおか たかし 藤岡 孝志	日本社会事業大学 名誉教授	平成26年6月29日就任
理 事	わ け やすた 和氣 康太	明治学院大学 教授	平成24年6月29日就任
理 事	ひろかわ り え こ 廣川 理恵子	弁護士	令和3年6月29日就任
理 事	にしだ しんいち 西田 伸一	東京都医師会 理事	平成29年8月1日就任
理 事	さ さ き しゅうどう 佐々木 晶堂	社会福祉法人蓮花苑 理事長	平成24年6月29日就任
理 事	ありが ひろし 有賀 弘	社会福祉法人しあわせ会 理事 (白州いずみの家施設長)	令和5年6月30日就任
理 事	さの ひろこ 佐野 宏子	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団 事務局長	令和4年4月1日就任
理 事	はやし なおき 林 直樹	東京都片瀬学園 園長	令和3年4月1日就任
監 事	さいとう かずき 齊藤 一紀	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 元常務理事	平成29年6月23日就任
監 事	いしむら みつよ 石村 光代	公認会計士・税理士	令和4年5月25日就任

社会福祉法人東京都社会福祉事業団評議員名簿

令和6年3月31日現在

氏 名	現 職	備 考
よこほり まさこ 横堀 昌子	青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授	令和3年6月29日就任
やじま りえ 矢嶋 里絵	東京都立大学人文社会学部 教授	令和3年6月29日就任
ゆあさ かつみ 湯浅 克己	社会福祉法人東京コロニー 理事 (東京都大田福祉工場 事業所長)	令和3年6月29日就任
こいけ あきら 小池 朗	板橋区立赤塚福祉園施設長 (社会福祉法人嬉泉 事務局長)	令和3年6月29日就任
みやた ひろあき 宮田 浩明	社会福祉法人セント・ジョセフ会 理事長	令和5年7月20日就任
おかはし おさち 岡橋 生幸	一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 理事	平成18年6月29日就任
さいとう ゆたか 齋藤 豊	東京都八王子福祉園 保護者会会長	令和4年6月17日就任
ふくしま たみお 福島 民雄	東京都七生福祉園 成人保護者会会長	平成28年6月29日就任
にしお じゅいち 西尾 寿一	東京都福祉局 子供・子育て支援部長	令和5年4月1日就任
すずき かずのり 鈴木 和典	東京都福祉局 障害者施策推進部長	令和5年4月1日就任

社会福祉法人東京都社会福祉事業団評議員選任・解任委員会名簿

令和6年3月31日現在

氏 名	現 職	備 考
いしむら みつよ 石村 光代	公認会計士・税理士	令和4年6月13日就任
やまおか りょういち 山岡 亮一	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団 事務局次長	令和4年4月1日就任
あらい さちこ 荒井 祥子	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部長	令和5年4月1日就任
あさひな かずしげ 朝比奈 和茂	弁護士	平成29年2月3日就任
もりた よしき 森田 能城	東京都福祉局 政策推進担当部長	令和4年4月1日就任

令和5年度理事会開催状況

開 催 日 時	審 議 状 況
書面によるみなし決議 令和5年5月12日	1 提案事項 第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団定款の一部変更（案）について 第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団定款細則の一部改正（案）について 第3号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団諸規程の一部改正（案）について
第一回 令和5年6月14日	1 審議事項 第1号議案 令和4年度事業報告書（案）について 第2号議案 令和4年度決算（案）について 第3号議案 令和5年度第一次補正予算（案）について 第4号議案 次期理事及び監事候補者の推薦（案）について 第5号議案 評議員会の招集について 2 報告事項 施設利用実績について 令和4年度予算の流用及び予備費の使用について 実地検査結果について 事案報告について
書面によるみなし決議 令和5年6月30日	1 提案事項 第1号議案 理事長及び業務執行理事の選定について 第2号議案 会計監査人の報酬額について
書面によるみなし決議 令和5年7月7日	1 提案事項 評議員候補者の推薦について
第二回 令和5年9月22日	1 審議事項 第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団就業規則の一部改正（案）について 第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団職員給与規程の一部改正（案）について 第3号議案 令和5年度第二次補正予算（案）について 2 報告事項 施設利用実績について コンプライアンス委員会の報告について
第三回 令和5年12月18日	1 審議事項 第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団処務規程の一部改正（案）について 第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団職員給与規程の一部改正（案）について 第3号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団役員及び評議員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 第4号議案 常勤役員の報酬等の額（案）について 第5号議案 令和5年度第三次補正予算（案）について 第6号議案 評議員会の招集について 2 報告事項 施設利用実績について 令和6年度職員採用選考の状況について その他事案報告について

第四回 令和6年3月27日	1 審議事項 第1号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団就業規則及び非常勤職員等就業規則の一部改正（案）について 第2号議案 社会福祉法人東京都社会福祉事業団職員給与規程の一部改正（案）について 第3号議案 令和5年度第四次補正予算（案）について 第4号議案 令和6年度事業計画（案）について 第5号議案 令和6年度予算（案）について 第6号議案 令和6年度の契約案件について 第7号議案 理事候補者の推薦（案）について 第8号議案 評議員候補者の推薦（案）について 第9号議案 評議員選任・解任委員の選任（案）について 第10号議案 事務局長及び施設長の任免（案）について 第11号議案 評議員会の招集（案）について 2 報告事項 施設利用実績について 令和5年度予算の流用及び予備費の使用について 令和6年度職員採用選考の状況について 令和6年度の施設運営体制について 財政援助監査結果について 事案報告について コンプライアンス委員会について
--------------------------	---

令和5年度評議員会開催状況

開 催 日 時	審 議 状 況
書面によるみなし決議 令和5年5月18日	1 提案事項 社会福祉法人東京都社会福祉事業団定款の一部変更（案）について
定時 令和5年6月30日	1 審議事項 理事及び監事の選任について 2 報告事項 令和4年度事業報告書について 令和4年度決算について
書面によるみなし決議 令和5年12月28日	1 提案事項 社会福祉法人東京都社会福祉事業団役員及び評議員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正（案）について 常勤役員の報酬等の額（案）について
臨時 令和6年3月28日	1 提案事項 理事の選任（案）について 2 報告事項 令和6年度事業計画について 令和6年度予算について

令和5年度評議員選任・解任委員会開催状況

開 催 日 時	審 議 状 況
書面によるみなし決議 令和5年7月20日	1 提案事項 評議員の選任について
書面によるみなし決議 令和6年3月31日	1 提案事項 評議員の選任について

Ⅳ 職員の状況（令和5年度）

1 職員配置【在籍職員数】

区 分	職員種別					職種別						合計	うち管理職
	都派遣職員	正規職員	契約職員	嘱託員・再雇用	非常勤職員	事務	福祉	心理	栄養士	看護師	その他※		
本部事務局	13	8	0	1	0	21	1	0	0	0	0	22	3
石神井学園	20	60	1	3	13	8	72	5	1	2	9	97	2
小山児童学園	5	37	2	0	3	2	36	2	1	1	5	47	1
船形学園	3	28	0	1	10	4	28	1	2	1	6	42	1
八街学園	4	41	0	0	7	4	40	1	1	1	5	52	1
勝山学園	7	27	0	1	6	4	28	2	1	2	4	41	1
片瀬学園	2	31	1	3	6	4	30	2	1	1	5	43	1
児童養護施設 小計	41	224	4	8	45	26	234	13	7	8	34	322	7
七生福祉園	32	99	5	3	32	12	135	2	2	7	13	171	3
東村山福祉園	39	84	0	4	7	8	102	1	1	13	9	134	3
千葉福祉園	48	126	12	4	23	10	163	1	3	10	26	213	5
八王子福祉園	35	154	4	2	19	10	182	1	1	11	9	214	3
立川療護園 はごろもの音	0	59	2	3	10	3	63	0	1	5	2	74	1
希望の郷 東村山	0	124	3	2	9	3	126	1	2	4	2	138	1
障害施設 小計	154	646	26	18	100	46	771	6	10	50	61	944	16
合計	208	878	30	27	145	93	1,006	19	17	58	95	1,288	26

※その他…医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、言語聴覚士、病院施設調理外

注) 1 4月1日現在、休職中等の職員を含む。

2 「非常勤職員」は、月16日以上勤務の職員を計上している。

3 都派遣職員は再任用職員を含む。

職員の状況（令和5年度）

2 職級構成（正規職員・契約職員）

区分	事務		福祉		栄養士		看護師	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
5級（ジェネラルマネージャー）	0人	0.0%	6人	0.7%	0人	0.0%	0人	0.0%
4級（マネージャー）	2人	6.7%	11人	1.3%	0人	0.0%	0人	0.0%
3級（サブマネージャー）	3人	10.0%	44人	5.4%	1人	9.1%	2人	6.7%
2級	18人	60.0%	395人	48.5%	9人	81.8%	28人	93.3%
1級	7人	23.3%	329人	40.4%	1人	9.1%	0人	0.0%
契約	0人	0.0%	30人	3.7%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	30人	100.0%	815人	100.0%	11人	100.0%	30人	100.0%

区分	心理		理学療法士・言語聴覚士		臨床検査技師		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
5級（ジェネラルマネージャー）	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	0.7%
4級（マネージャー）	1人	5.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	14人	1.5%
3級（サブマネージャー）	0人	0.0%	1人	25.0%	0人	0.0%	51人	5.6%
2級	9人	52.9%	3人	75.0%	1人	100.0%	463人	51.0%
1級	7人	41.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	344人	37.9%
契約	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	30人	3.3%
合計	17人	100.0%	4人	100.0%	1人	100.0%	908人	100.0%

3 職員構成（福祉職）

区分	人数	割合	87.7%
正 規	779人	78.1%	
契 約	30人	3.0%	
嘱託員・再雇用	11人	1.1%	
非常勤	55人	5.5%	12.3%
都派遣	123人	12.3%	
合 計	998人	100.0%	100.0%

注）1 管理職（正規6名・都派遣1名・嘱託員1名）は集計外
2 都派遣職員は再任用職員を含む。

4 平均勤続年数（福祉職）

区分	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	合計	平均勤続年数
正規	227人	118人	202人	232人	779人	7.7年
	29.1%	15.1%	25.9%	29.8%	100.0%	
全職員（※）	272人	131人	237人	358人	998人	9.3年
	27.3%	13.1%	23.7%	35.9%	100.0%	

※ 全職員：都派遣職員、正規職員、契約職員、嘱託員、再雇用職員、非常勤職員
注）1 4月1日時点の在籍職員について、当該年度末の勤続年数により算出
2 管理職（正規6名・都派遣1名・嘱託員1名）は集計外
3 都派遣職員は再任用職員を含む。

5 平均年齢（福祉職）

区分	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計	平均年齢
正規	313人	221人	144人	94人	7人	779人	34.8歳
	40.2%	28.4%	18.5%	12.1%	0.9%	100.0%	
全職員（※）	318人	236人	161人	205人	78人	998人	39.2歳
	31.9%	23.6%	16.1%	20.5%	7.8%	100.0%	

※ 全職員：都派遣職員、正規職員、契約職員、嘱託員、再雇用職員、非常勤職員
注）1 4月1日時点の在籍職員について、当該年度末の年齢により算出
2 管理職（正規6名・都派遣1名・嘱託員1名）は集計外
3 都派遣職員は再任用職員を含む。

6 管理職等への任用

	ポスト数	正規職員	割合
	a	b	b/a
園長・副園長等	21人	6人	28.6%
部門長	18人	6人	33.3%
グループリーダー等	62人	37人	59.7%
合計	101人	49人	48.5%

※ 園長・副園長等には、事務職管理職ポストを含む。
※ グループリーダー等には、看護長を含む。

V 施設及び地域支援事業等の利用定員・利用実績

入所施設利用定員

種別	施設名	利用定員		事業種別	備考
児童養護施設	石神井学園	130人		第一種社会福祉事業	
	小山児童学園	64人			
	船形学園	64人			
	八街学園	64人			
	勝山学園	64人			
	片瀬学園	48人			
	計	434人			
福祉型障害児入所施設	七生福祉園	156人(※1)			
	東村山福祉園	80人			
	千葉福祉園	48人(※1)			
	計	276人			
障害者支援施設		施設障害福祉サービス		第一種社会福祉事業	（※1） この定員は施設入所支援(※2)及び生活介護(※2)を利用する者を含めた定員である。 （※2） 平成24年3月31日時点で、改正前の児童福祉施設条例に基づく七生福祉園、千葉福祉園において、知的障害児施設支援を受けていた者に係るものに限る。 （※3） この定員は福祉型障害児入所施設を利用する者を含めた定員である。
		種類	利用定員		
	七生福祉園	施設入所支援	150人		
		施設入所支援(※2)	156人(※3)		
		生活介護	144人		
		生活介護(※2)	156人(※3)		
		自立訓練（生活訓練）	6人		
		就労移行支援	14人		
	千葉福祉園	施設入所支援	320人		
		施設入所支援(※2)	48人(※3)		
		生活介護	320人		
		生活介護(※2)	48人(※3)		
	八王子福祉園	施設入所支援	160人		
		生活介護	180人		
	立川療護園 はごろもの音	施設入所支援	50人		
		生活介護	70人		
	希望の郷 東村山	施設入所支援	80人		
		生活介護	110人		
	計	施設入所支援	964人		
		生活介護	1,028人		
		自立訓練（生活訓練）	6人		
		就労移行支援	14人		

地域支援事業等利用定員

種 別	施 設 名	利 用 定 員	事 業 種 別	備 考
生活介護事業（通所分）				
	八王子福祉園	20人（再掲）	第一種社会福祉事業	障害者支援施設の利用 定員に含まれる
	立川療護園 はごろもの音	20人（再掲）		
	希望の郷 東村山	30人（再掲）		
就労移行支援事業				
	七生福祉園	14人（再掲）	第一種社会福祉事業	障害者支援施設の利用 定員に含まれる
短期入所事業				
	七生福祉園（児童）	7人	第二種社会福祉事業	
	七生福祉園（成人）	5人		
	東村山福祉園	8人		
	千葉福祉園（成人）	6人		
	八王子福祉園	10人		
	立川療護園 はごろもの音	6人		
	希望の郷 東村山	10人		
子育て短期支援事業				
	石神井学園	宿 泊 7人 日帰り 8人	第二種社会福祉事業	
共同生活援助（グループホーム）事業				
	あおば （七生福祉園）	30人	第二種社会福祉事業	自主事業 7ユニット
	きらり （希望の郷 東村山）	34人		自主事業 5ユニット
一般相談支援事業				
	相談支援室 ポレポレ（八王子福祉園）		第二種社会福祉事業	自主事業
	相談支援ステーション ほたる（立川療護園 はごろもの音）			
特定相談支援事業				
	ここななお（七生福祉園）		第二種社会福祉事業	自主事業
	相談支援事業所 ふわり（東村山福祉園）			
	相談支援室 ポレポレ（八王子福祉園）			
	相談支援ステーション ほたる（立川療護園 はごろもの音）			
	東村山相談支援事業所（希望の郷 東村山）			
障害児相談支援事業				
	相談支援事業所 ふわり（東村山福祉園）		第二種社会福祉事業	自主事業
知的障害者短期入所事業				
	七生福祉園（成人）	日野市 1人	公益事業	市単独事業
知的障害者就労支援事業				
	七生福祉園（成人）	日野市	公益事業	市単独事業・自主事業
障害者児日中一時支援事業				
	東村山福祉園	東村山市 2人 東大和市 2人 小平市 1人	公益事業	市単独事業

児童養護施設利用実績

1 月別在籍児童数及び入退所者数

(人)

施設名	定員	運用 定員			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被虐待を理由とする入所児童数			
																		主たる 要因	従たる 要因	計	率
石神井学園	130	116	在籍児童数		91	89	92	91	91	91	90	92	93	93	93	94	92	66	20	86	88.7%
			入所 児童数	初日入所													0				
				その他	2	3		1			3	1	2		1	4	17				
			退所児童数		4		1	1		1	1		2			14	24				
			一時保護委託		2	2	4	3	4	5	5	4	4	3	3	3	—				
小山児童学園	64	64	在籍児童数		52	50	50	50	51	51	51	51	50	51	51	51	51	39	4	43	82.7%
			入所 児童数	初日入所													0				
				その他	1		1	1	1	1			1	1		1	8				
			退所児童数		2		1		1	1	1			1	1	4	12				
			一時保護委託		1	2	2	2	2	2	2	2	3	2	1	1	—				
船形学園	64	48	在籍児童数		40	39	39	39	40	40	39	39	39	38	38	35	39	32	1	33	94.3%
			入所 児童数	初日入所													0				
				その他				1									1				
			退所児童数		1					1			1		3	6	12				
			一時保護委託														—				
八街学園	64	64	在籍児童数		35	35	37	37	37	36	36	35	39	38	38	38	37	30	8	38	95.0%
			入所 児童数	初日入所			2										2				
				その他			1					4					5				
			退所児童数				1		1		1		1			2	6				
			一時保護委託													2	—				
勝山学園	64	56	在籍児童数		38	39	39	39	39	38	39	40	42	42	42	42	40	31	2	33	78.6%
			入所 児童数	初日入所													0				
				その他	2	1				1	1	2				2	9				
			退所児童数		2	1			1	1						4	9				
			一時保護委託		1	1	2	2									—				
片瀬学園	48	32	在籍児童数		26	25	28	28	28	30	30	31	31	32	32	32	29	24	8	32	97.0%
			入所 児童数	初日入所													0				
				その他		4			3		1		1				9				
			退所児童数		1	1			1							2	5				
			一時保護委託		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	—				
計	434	380	在籍児童数		282	277	285	284	286	286	285	288	294	294	294	292	287	222	43	265	88.6%
			入所 児童数	初日入所	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
				その他	5	8	2	3	4	2	5	7	4	1	1	7	49				
			退所児童数		10	2	3	1	4	4	3	0	4	1	4	32	68				
			一時保護委託		5	6	9	8	7	8	8	7	8	6	5	7	—				

※各月初日の在籍数と月中の入退所数（1日退所は前月の退所人数に含む。）

※各月初日の在籍数に一時保護児童は含まない。

※一時保護委託児童数は各月初日の在籍数

※在籍数の計欄は、令和5年度の月平均在籍数。入所児童数・退所児童数・一時保護委託の計は令和5年度の合計数。

※被虐待を理由とする入所児数・率は令和6年3月1日現在（一時保護含む。）

2 在籍児童の学齢別（令和6年3月1日現在 一時保護を除く。）（人）

施設名	在籍数	幼児	小学生	中学生	高校生	定時制	特別支援学校	その他
石神井学園	94	1	31	24	29	0	9	0
		1.1%	33.0%	25.5%	30.9%	0.0%	9.6%	0.0%
小山児童学園	51	1	15	11	21	0	1	2
		2.0%	29.4%	21.6%	41.2%	0.0%	2.0%	3.9%
船形学園	35	0	14	11	10	0	0	0
		0.0%	40.0%	31.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
八街学園	38	0	13	16	7	0	2	0
		0.0%	34.2%	42.1%	18.4%	0.0%	5.3%	0.0%
勝山学園	42	4	14	14	9	0	1	0
		9.5%	33.3%	33.3%	21.4%	0.0%	2.4%	0.0%
片瀬学園	32	2	12	9	8	0	0	1
		6.3%	37.5%	28.1%	25.0%	0.0%	0.0%	3.1%
計	292	8	99	85	84	0	13	3
		2.7%	33.9%	29.1%	28.8%	0.0%	4.5%	1.0%

3 退所の状況（人）

施設名	退所数	家庭復帰	措置変更	自立援助ホーム等	就職	進学	その他
石神井学園	24	9	3	1	4	6	1
小山児童学園	12	3	1	2	2	3	1
船形学園	12	6	1	0	3	1	1
八街学園	8	7	0	0	0	0	1
勝山学園	9	5	1	0	3	0	0
片瀬学園	5	1	0	0	2	2	0
計	70	31	6	3	14	12	4

※措置変更は、児童自立支援施設、養育家庭等である。

※就職・進学した児童数には、家庭復帰した児童は含まない。

4 中学3年生の進路（人）

施設名	在籍数	高校進学	就職	その他
石神井学園	8	7	0	1
小山児童学園	1	1	0	0
船形学園	4	4	0	0
八街学園	6	6	0	0
勝山学園	6	4	0	2
片瀬学園	2	2	0	0
計	27	24	0	3

※高校進学・就職・その他の児童数には、家庭復帰した児童を含む。

5 高校3年生の進路（人）

施設名	在籍数	進学				就職	その他
		計	大学	短大	専門学校		
石神井学園	14	7	2	1	4	6	1
小山児童学園	6	3	3	0	0	2	1
船形学園	5	1	0	0	1	3	1
八街学園	1	0	0	0	0	0	1
勝山学園	4	1	1	0	0	3	0
片瀬学園	4	3	1	0	2	0	1
計	34	15	7	1	7	14	5

※進学・就職・その他の児童数には、家庭復帰した児童を含む。

障害者(児)施設利用実績

1 月別在籍者数及び入退所者数

(人)

施設名		定員	運用 定員		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	入所率
七生福祉園	児童	156	115	在籍数	84	82	82	84	84	85	85	86	88	89	88	89	86	74.8%
				入所	初日入所												0	
					その他			2		2		1	2	1		1	2	
				退所	2				1					1		9	13	
	一時保護委託	2	2	4	5	5	5	5	5	3	3	7	7	53				
	成人	150	126	在籍数	111	111	110	110	110	110	110	108	109	109	109	110	87.3%	
				入所	初日入所													0
					その他								1					1
退所					1						2					3		
東村山福祉園	児童	80	80	在籍数	58	59	59	60	61	62	62	63	64	64	64	64	62	77.5%
				入所	初日入所												0	
					その他	1	1	1	1		1	1	1		1		5	
				退所	1									1		6	8	
				一時保護委託	2	3	1	0	5	4	3	4	2	4	2	3	33	
千葉福祉園	児童	48	48	在籍数	14	13	13	13	14	14	14	14	14	12	11	11	13	27.1%
				入所	初日入所												0	
					その他				1							1	2	
				退所	1								2	1		3	7	
				一時保護委託	1	1	0	0	1	1	1	2	2	2	1	1	13	
	成人	320	304	在籍数	211	208	207	205	203	200	198	197	196	192	191	191	200	65.8%
				入所	初日入所												0	
					その他												0	
退所	3	1	2	2	3	2	1	1	4	1	0	2	22					
八王子福祉園	成人	160	155	在籍数	128	128	128	128	128	125	123	124	122	121	121	120	125	80.6%
				入所	初日入所												0	
					その他			1				2					2	
				退所	0	0	1	0	3	2	1	2	1	0	1	0	11	
立川療護園 はごろもの音	成人	50	50	在籍数	48	47	47	47	48	47	48	47	46	47	47	47	47	94.0%
				入所	初日入所												0	
					その他				1		1			1	1		2	
				退所	1					1		1	1		1		1	
希望の郷 東村山	成人	80	80	在籍数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	79	79	78	80	100.0%
				入所	初日入所												0	
					その他												0	
				退所										1		1		

※各月初日の在籍数と月中の入退所数（1日退所は前月の退所人数に含む。）

※各月初日の在籍数に一時保護委託児童は含まない。

※一時保護委託児童数は各月初日の在籍数

※在籍数の計は、令和5年度の月平均在籍数。入所児童数・退所児童数・一時保護委託の計は令和5年度の合計数。

※障害者支援施設(七生福祉園(成人)、千葉福祉園(成人)、八王子福祉園、立川療護園 はごろもの音)の在籍数は、施設入所支援の在籍数

※入所率は、〔在籍数の計〕／〔運用定員〕

【福祉型障害児入所施設】

1 在籍児童の年齢別（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～17歳	18歳	19歳	20～25歳	26～29歳	30歳以上	平均年齢
七生福祉園	82	2	27	30	18	5	0	0	0	0	13.2歳
東村山福祉園	63	5	21	20	15	1	1	0	0	0	12.7歳
千葉福祉園	9	0	0	0	6	2	1	0	0	0	17.3歳
計	154	7	48	50	39	8	2	0	0	0	

2 障害者手帳所持状況（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	愛の手帳					身体障害者手帳						重複障害
		1度	2度	3度	4度	手帳なし	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
七生福祉園	82	0	3	26	52	1	0	0	0	0	2	0	2
東村山福祉園	63	4	59	0	0	0	4	4	3	2	0	0	13
千葉福祉園	9	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
計	154	4	62	29	58	1	4	4	3	2	2	0	15

3 利用形態（措置・契約）（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	措置	契約
七生福祉園	82	66	16
東村山福祉園	63	31	32
千葉福祉園	9	5	4
計	154	102	52

4 退所理由

（人）

施設名	退所数	地域生活移行	他施設入所	家庭復帰	その他
七生福祉園	9	7	1	0	1
東村山福祉園	8	4	0	4	0
千葉福祉園	7	2	3	2	0
計	24	13	4	6	1

【障害者支援施設】

1 在籍者の年齢別（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	平均年齢
七生福祉園	109	0	1	3	15	36	26	28	60.3歳
千葉福祉園	189	0	0	5	14	54	70	46	62.7歳
八王子福祉園	120	0	4	11	12	36	29	28	58.3歳
立川療護園 はごろもの音	49	0	1	5	10	15	12	6	56.0歳
希望の郷 東村山	78	0	27	23	23	5	0	0	34.7歳
計	545	0	33	47	74	146	137	108	

2 障害者手帳所持状況（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	愛の手帳					身体障害者手帳						重複障害
		1度	2度	3度	4度	手帳なし	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
七生福祉園	109	0	42	47	20	0	0	2	3	5	2	1	13
千葉福祉園	189	1	112	51	25	0	9	7	4	6	6	3	35
八王子福祉園	120	30	85	5	0	0	32	21	8	3	1	0	65
立川療護園 はごろもの音	49	2	6	2	4	35	44	4	1	0	0	0	29
希望の郷 東村山	78	13	65	0	0	0	8	4	5	1	0	0	18
計	545	46	310	105	49	35	93	38	21	15	9	4	160

3 障害支援区分（令和6年3月31日現在）

（人）

施設名	在籍数	区分1	区分2	区分3 (50歳未満)	区分3 (50歳以上)	区分4	区分5	区分6
七生福祉園	109	0	0	0	4	33	52	20
千葉福祉園	189	0	0	0	6	50	65	68
八王子福祉園	120	0	0	0	0	0	16	104
立川療護園 はごろもの音	49	0	0	0	0	0	6	43
希望の郷 東村山	78	0	0	0	0	0	2	76
計	545	0	0	0	10	83	141	311

4 退所理由

（人）

施設名	退所数	地域生活移行	他施設入所	死亡	その他
七生福祉園	3	0	0	3	0
千葉福祉園	22	0	4	13	5
八王子福祉園	11	0	0	10	1
立川療護園 はごろもの音	6	1	0	1	4
希望の郷 東村山	2	0	1	1	0
計	44	1	5	28	10

地域支援事業等 事業実績

種別	施設名	利用定員等	事業実績等				
生活介護事業（通所分）			計 画			実 績	
			年間営業日数	延べ利用者数	利用率	延べ利用者数	利用率
	八王子福祉園（第一種社会福祉事業）	20人	4,840日	3,100人	64.0%	3,260人	67.4%
	立川療護園 はごろもの音 （第一種社会福祉事業）	20人	4,860日	2,266人	46.6%	1,476人	30.4%
	希望の郷 東村山 （第一種社会福祉事業）	30人	7,290日	6,897人	94.6%	6,594人	90.5%
就労移行支援事業（第一種社会福祉事業）			実 績				
	七生福祉園（成人）	14人	1 施設内支援	延べ	312人		
			2 施設外支援	延べ	464人		
			3 企業就労実績		0人		
			4 職場定着支援		1人	延べ 2回	
			5 実習等		3人	延べ 33件	
			6 求職活動等		3人	延べ 28件	
			7 体験実習受入		21人	延べ 60日	
短期入所事業（第二種社会福祉事業）			計 画			実 績（空床利用含む）	
			年間営業日数	延べ利用者数	利用率	延べ利用者数	利用率
	七生福祉園（児童）	7人	2,555日	1,000人	39.1%	532人	20.8%
	七生福祉園（成人）	5人	1,825日	410人	22.5%	320人	17.5%
	東村山福祉園	8人	2,920日	2,044人	70.0%	2,144人	73.4%
	千葉福祉園（成人）	6人	2,190日	438人	20.0%	110人	5.0%
	八王子福祉園	10人	3,660日	1,500人	41.0%	1,432人	39.1%
	立川療護園 はごろもの音	6人	2,190日	1,461人	66.7%	1,044人	47.7%
	希望の郷 東村山	10人	3,650日	2,190人	60.0%	1,355人	37.1%
子育て短期支援事業（第二種社会福祉事業）			計 画			実 績	
			対象区市町村		延べ利用者数	延べ利用者数	
	石神井学園	宿泊	7人	練馬区、中央区		500人	1,089人
		日帰り	8人	練馬区		50人	101人
一般相談支援事業（第二種社会福祉事業）			計 画		実 績		
			地域移行支援	地域定着支援	地域移行支援	地域定着支援	
	八王子福祉園		0件	-	0件	-	
	立川療護園 はごろもの音		0件	0件	0件	0件	
特定相談支援事業（第二種社会福祉事業）			実 績				
	七生福祉園（成人）※ （障害者等相談支援事業）		新規利用者	基本相談	利用調整	訪問支援	セルフプラン作成支援
			38人	174人	928件	357件	0件
	七生福祉園（成人） （特定相談支援事業）		計画作成	モニタリング			
			42件	140件			
	東村山福祉園		46件	123件			
	立川療護園 はごろもの音		22件	97件			
	八王子福祉園		27件	104件			
希望の郷 東村山		69件	183件				
障害児相談支援事業（第二種社会福祉事業）			実 績				
	東村山福祉園		計画作成	モニタリング			
			26件	30件			

知的障害者短期入所事業（公益事業）			計 画			実 績	
			年間営業日数	延べ利用者数	利用率	延べ利用者数	利用率
	七生福祉園（成人）	1人	365日	146人	40.0%	130人	35.6%
知的障害者就労支援事業（公益事業）			実 績				
	七生福祉園（成人） （日野市授産連携システム日野わーくわーく）		1 共同販売	都立高校昼食販売 11か月 売上 2,679,685円 市役所販売 19回 売上 636,425円 地域イベント出店 13件 売上 985,600円			
			2 店舗販売	営業日 242日 売上 1,933,808円（うち七生福祉園分 123,650円） ショッピングイベント 8回 408,900円 （うち七生福祉園分 43,800円）			
			3 共同受注	食品加工、印刷製本、加工作業、清掃業務受託、商品開発 受注 11件（種） 延べ884回 売上 7,075,015円 （うち七生福祉園分 2,388,947円）			
	七生福祉園（成人） （障害者就労チャレンジ支援事業）		実 績				
			就労チャレンジ支援			就労意欲改革支援	
			実施日数	訓練参加人数	訓練参加延べ人数	参加回数	参加延べ人数
			242日	20人	451人	3回	5人
障害者（児）日中一時支援事業（公益事業）			計 画			実 績	
			年間営業日数	延べ利用者数	利用率	延べ利用者数	利用率
	東村山福祉園	5人	42日	210人	500.0%	100人	238.1%

※ 七生福祉園（成人）の障害者等相談支援事業は、特定相談支援事業と一体的に運営している日野市からの受託事業である。

Ⅵ 事業実績

1 利用者・児童の権利擁護及び最善のサービスの提供

■ 権利擁護(虐待防止等)の徹底

	施設名	事 項	計画回数	実施回数等	内容・協力機関等
児童養護施設	石神井学園	権利擁護委員会	1 0 回	1 0 回	子どもの権利ノート説明会、CAP研修等を実施
	小山児童学園	苦情解決・リスクマネジメント委員会	1 0 回	1 0 回	①児童の権利擁護・苦情解決に関すること②CAP（子どもへの暴力防止プログラム）・マルチリポートメント（不適切な養育）等
	船形学園	権利擁護委員会	1 0 回	1 3 回	職員資質向上に向けての研修、児童の権利に関する検討
	八街学園	リスクマネジメント委員会	6 回	6 回	不適切な支援や児童虐待の防止等に向けた取組、安全対策等
	勝山学園	虐待等防止委員会	4 回	4 回	不適切な支援や利用者虐待の防止等に向けた取組
	片瀬学園	権利擁護委員会	5 回	5 回	不適切な支援や利用者虐待の防止等に向けた取組 サービス向上に向けた取組
障害施設	七生福祉園	事故防止・虐待防止委員会、 小委員会	年36回 (委員会12回、 小委員会24回)	36回	ヒヤリ・ハット報告、虐待防止・身体拘束廃止に向けた取組、防災等の検討等
	東村山福祉園	虐待防止委員会	1 2 回	1 2 回	不適切な支援や利用者虐待の防止等に向けた取組 身体拘束禁止の検討及び周知
	千葉福祉園	虐待防止委員会	4 回	7 回	不適切な支援や利用者虐待の防止等に向けた取組 身体拘束禁止の検討及び周知 権利擁護意識向上のための啓発活動
	八王子福祉園	虐待防止委員会	4 回	4 回	不適切な支援・虐待等防止に向けた検討と困難利用者への支援方法の検討
	立川療護園 はごろもの音	虐待等防止委員会 身体拘束禁止取組	6 回	6 回	不適切な支援・虐待防止に向けた検討と困難利用者への支援方法の検討
	希望の郷 東村山	虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会	1 4 回	1 7 回	不適切な支援や虐待防止、風通しの良い職場作り等に向けた取組 身体拘束禁止の周知
各施設	権利擁護・虐待防止に関する研修（事業団共通e－ラーニング虐待防止〔総論〕研修）受講率			全施設100%	
	施設における虐待防止に関する研修実施				

■ 苦情解決制度の充実

※「0回」は、コロナ感染対策のため中止

	施設名	第三者委員(人数・属性等)	計画回数	実施回数
児童養護施設	石神井学園	3人(弁護士、民生児童委員、学識経験者)	24回	18回
	小山児童学園	3人(主任児童委員、民生児童委員、弁護士)	12回	11回
	船形学園	3人(弁護士、地域関係者、主任児童委員)	連絡会議8回 相談コーナー3回 児童懇談会5回	連絡会議8回 相談コーナー3回 児童懇談会5回
	八街学園	2人(弁護士、元主任児童委員)	12回	12回
	勝山学園	3人(元教員)	4回	4回
	片瀬学園	3人(弁護士・学識経験者)	12回	12回
障害施設	七生福祉園	5人(社協職員、障害者施設施設長、高齢者施設事務長、専科講師、傾聴ボランティア)	31回	29回
	東村山福祉園	2人(民間法人理事、地域の福祉関係者)	3回	3回
	千葉福祉園	4人(弁護士、近隣NPO法人代表、近隣自治会役員)	4回	4回
	八王子福祉園	2人(元社福施設長・福祉行政経験者)	5回	5回
	立川療護園 はごろもの音	2人(弁護士、自立生活センター事務局長)	6回	6回
	希望の郷 東村山	2人(民間法人理事、地元市行政経験者)	4回	2回

■ 利用者満足度調査の実施

	施設名	実施内容（テーマ）	時 期
児童養護施設	石神井学園	「寮生活アンケートと行事の満足度調査」	10月
	小山児童学園	「あなたは学園で、安心して、楽しく生活できていますか。」「学園の職員から、あなたは大切にされていると感じますか。」等、全12項目	12月 実施 3月 フィードバック
	船形学園	「学園生活満足度、児童同士及び職員からの権利侵害」	1～2月
	八街学園	「学園での生活に満足していますか？」「困っていることはありますか？」「自由意見」	1月
	勝山学園	「ほんとのきもち」	11月
	片瀬学園	「施設の設備」「生活のしやすさ」	1月
障害施設	七生福祉園	利用者要望調査（児童）「生活全般について」	2月
		利用者満足度調査（成人）「生活全般について」	12月～1月
		日中活動利用者意向調査	10月
		短期入所者アンケート	第三者評価時及び利用の都度実施
	東村山福祉園	個別支援計画について	11月～12月
	千葉福祉園	成人：職員の接遇について	8月～10月
		児童：職員の接遇について	12月末
	八王子福祉園	園のサービスに関する意向・要望	11月
	立川療護園 はごろもの音	生活全般について	1月～2月
	希望の郷 東村山	休日の余暇支援について	2月

■ リスクマネジメントの徹底

	施設名	事 項	計画回数	実施回数等	内容・協力機関等
児童養護施設	石神井学園	運営会議	12回	19回	ヒヤリ・ハットの検証、改善案の作成など
		フロア代表者会議	10回	10回	ヒヤリ・ハットの検証等
	小山児童学園	事故予防	適宜	10回	園内事故防止と対策について、ヒヤリ・ハット・事故報告の分析・検証、改善策の検討等
		地震対策	2回	2回	転倒防止チェックリストを活用し、寮の危機管理意識を向上
		リスクマネジメント委員会	10回	10回	各寮の職員と幅広い視点で協議を行うとともに、入所児童について情報共有と注意喚起
		入所前リスクマネジメント会議	適宜	7ケース	入所に当たっては、園長、部門長、支援グループリーダー、関係機関等も交えて寮職員と一緒に事前のリスク把握と対応策確認
	船形学園	事故防止委員会	3回	3回	事故事例検討、対応策・予防策の検討
		園内一斉安全点検	12回	12回	チェックリストにより園内の安全点検
		救急救命講習会	1回	1回	派遣講師によるAED操作等講習会
	八街学園	リスクマネジメント委員会（再掲）	6回	6回	不適切な支援や児童虐待の防止等に向けた取組、ヒヤリ・ハットの検証、安全対策等
		交通安全講習会	1回	1回	警察署等との連携による講習
		救命救急講習	1回	1回	八街消防署による救命講習
		非行防止学習会	1回	1回	警察署等との連携による学習会

	施設名	事 項	計画回数	実施回数等	内容・協力機関等
児童養護施設	勝山学園	事故等防止対策委員会	4回	4回	ヒヤリ・ハット確認、園内危険箇所確認等
		救急救命講習会	1回	1回	人工呼吸方法、AED使用方法について等
		交通安全講習会	1回	1回	警察署による交通安全指導
	片瀬学園	事故防止委員会	5回	5回	ヒヤリ・ハット事例の検討、事故防止に関わる園内ルールの確認等
		交通安全講習会	1回	1回	藤沢警察署警察官による講義
		救急救命講習会	1回	1回	外部研修にて対応
		自転車運転講習会	1回	1回	小学生対象
障害施設	七生福祉園	事故防止・虐待防止委員会、小委員会（再掲）	年36回 （委員会12回、小委員会24回）	36回	ヒヤリ・ハット報告、虐待防止・身体拘束廃止に向けた取組、防災の検討等
		救急救命講習会	3回	3回	全職員悉皆（3年に1回）
		児童向け講座	13回	13回	問題行動の抑制、改善や良好な対人関係の構築を目的とした講座
	東村山福祉園	リスクマネジメント委員会	6回	7回	ヒヤリ・ハットレポート分析・事故発生防止の取組
		緊急時想定訓練	24回	24回	所在不明・アナフィラキシーショック症状発生・心肺蘇生（入浴・食事）
	千葉福祉園	リスクマネジメント委員会	4回 随時	4回 随時	ヒヤリ・ハット、事故事例の収集分析や再発防止策の検討
		救急救命講習会	3回	3回	AED／止血法（医師・看護師2回、消防1回）
		交通安全講習	1回	1回	運転マナー、交通法規遵守等（警察署）
	八王子福祉園	リスクマネジメント委員会	3回	3回	委員会の体制、各部会の活動方針、各部会の活動報告
		緊急通報及び応急手当訓練	延56回	延51回	利用者急変時の緊急通報と初期段階の応急手当の訓練
		単独外出対応訓練	3回	2回	単独外出者発生時の対応訓練
		救命救急訓練	5回	4回	応急手当普及員による応急手当訓練の実施
	立川療護園 はごろもの音	リスクマネジメント委員会	12回	12回	年2回の委員会及びすぐやるチーム会議以外は拡大経営会議内で開催
	希望の郷 東村山	リスクマネジメント委員会	適宜	12回	ヒヤリ・ハットや自己分析、事故再発防止策等の協議・実施
		緊急対応想定訓練	16回	20回	緊急時搬送訓練 所在不明対応訓練等
		危機管理委員会	随時	10回	感染症対応のため随時開催

■ 感染症対策、新型コロナウイルス対策の徹底

	施設名	事 項	計画回数	実施回数等	内容・協力機関等
児童養護施設	石神井学園	運営会議	12回	19回	感染予防、対策の検証、情報の発出
		安全衛生委員会	12回	12回	感染予防、対策の検証、情報の発出
	小山児童学園	感染症等予防	適宜	適宜	インフルエンザ予防接種の実施、看護師による感染症予防等の指導、抗原検査の実施
	船形学園	衛生点検	3回	3回	感染症予防、食中毒防止
		感染症等予防	適宜	適宜	園負担による職員へのインフルエンザ予防接種の実施、新入職員への予防接種状況の確認と不足分のワクチン接種、看護師による感染症予防対策や勉強会の実施、「ほけんだより」による情報提供や投薬など医療全般に対する指導の徹底
	八街学園	感染症予防講習会	1回	1回	園内における新型コロナウイルス拡大防止対策、ノロウイルス対策
		キッチン等検査	2回	2回	各寮のキッチン、ダイニング等の衛生状態の巡回点検
	勝山学園	新型コロナウイルス対策会議	12回	2回	感染症法上の5類移行に伴い新型コロナウイルス対策会議は終了。一般の感染症対策会議は月1回園会議で協議
障害施設	七生福祉園	感染症対策会議	感染症発生時	月2回及び随時開催	新型コロナウイルス感染症対策等を、経営会議において随時検討
		感染症対応研修	2回	2回	感染防止対策の基本、嘔吐処理手順等
	東村山福祉園	危機管理委員会	不定期	33回 (うち書面開催25回)	新型コロナウイルス対応、インフルエンザ対応、带状疱疹対応
		感染症対策部会	6回	6回	感染症防止
	千葉福祉園	新型コロナウイルス対策本部	随時	14回	園内の感染状況の確認、感染予防対策、感染を想定した対応等の検討
	八王子福祉園	感染症対策会議	適宜	8回	新型コロナウイルス感染症クラスター発生時
	立川療護園 はごろもの音	感染症対策委員会	随時	隔週開催	新型コロナウイルス感染症対策の検討
	希望の郷 東村山	危機管理委員会（新型コロナウイルス対策・対応）【再掲】	随時	10回	感染状況の確認・対応、感染予防対策、感染を想定した対応等の検討

■ 家族再統合への取組

	施設名	事 項	計 画	実 績	実績児童数
児童養護施設	石神井学園	親子宿泊	延10泊	延5泊	1人
		保護者との面会	延50回	延21回	10人
		保護者との外出	延100回	延100回	24人
		保護者との外泊	延300泊	延250泊	24人
	小山児童学園	親子宿泊	延10泊	延4泊	1人
		保護者との面会・外出	延104回	延68回	33人
		保護者との外泊	延77泊	延180泊	15人
	船形学園	親子宿泊	延12泊	延4泊	1人
		保護者との面会	延76回	延98回	17人
		保護者との外泊	—	延268泊	4人
	八街学園	親子宿泊	延40泊	延20泊	3人
		保護者との面会・外出	延47回	延36回	14人
		保護者との外泊	—	延324泊	11人
	勝山学園	親子宿泊	延16泊	延31泊	4人
		保護者との面会・外出	延27回	延46回	9人
	片瀬学園	親子宿泊	延120泊	延107泊	7人
		保護者との面会・外出	延80回	延55回	13人

■ 自立に向けた支援

	施設名	事 項	回数等		実績児童等
			計 画	実 績	
児童養護施設	石神井学園	学習会等実施回数	10回	延14回	92人
		学習塾通塾児童数	20人	10人	対象児童：小学5年生以上77人
		自活訓練等実施回数	延287日	延182日	高校生13人
		職場体験実施児童数	6人	1人	1回
		進路決定率	100%	100%	高校3年生14人
	小山児童学園	学習会等実施回数	延336回	延109回	9人
		学習塾通塾児童数	8人	5人	対象児童：小学5年生以上42人
		自活訓練等実施回数	延35日	延168日	高校3年生5人
		進路決定率	100%	83%	高校3年生6人
	船形学園	学習会等実施回数	延24回	0回	0人
		学習塾通塾児童数	11人	5人	対象児童：小学5年生以上30人
		自活訓練等実施回数	延77日	延77日	高校生11人
		進路決定率	100%	100%	高校3年生5人
	八街学園	学習会等実施回数	延40回	延40回	18人
		学習塾通塾児童数	10人	8人	対象児童：小学5年生以上32人
		自活訓練等実施回数	延42日	延34日	高校生2人
		進路決定率	100%	0%	高校3年生1人
	勝山学園	学習会等実施回数	延100回	延41回	5人
		学習塾通塾児童数	6人	7人	対象児童：小学5年生以上13人
		自活訓練等実施回数	延28日	延21日	高校2年生3人
			延168日	延147日	高校3年生4人
		進路決定率	100%	100%	高校3年生4人
	片瀬学園	学習会等実施回数	延80回	延230回	12人
		園内学習塾実施回数	1人・週 当たり2回	1人・週 当たり2回	対象児童：中学生8人
		学習塾通塾児童数	3人	0人	対象児童：小学5年生以上25人
		自活訓練等実施回数	延80日	延80日	高校生4人
		進路決定率	100%	75%	高校3年生4人

■ アフターケアの充実

	施設名	計 画	実 績
児童養護施設	石神井学園	141人	134人
	小山児童学園	84人	127人
	船形学園	32人	31人
	八街学園	45人	50人
	勝山学園	48人	51人
	片瀬学園	50人	50人

■ 地域生活移行

	施設名	自活訓練事業等実施者数		地域生活移行者数	
		計 画	実 績	計 画	実 績
障害施設	七生福祉園（児童）	8人	8人	8人	10人
	七生福祉園（成人）	0人	0人	1人	0人
	東村山福祉園			2人	4人
	千葉福祉園（児童）	2人	0人	5人	3人
	千葉福祉園（成人）	0人	0人	1人	0人
	八王子福祉園			2人	0人
	立川療護園 はごろもの音			1人	1人
	希望の郷 東村山			1人	0人

■ 地域や他施設への移行に向けた取組

※「0回」は、コロナ感染対策のため中止

	施設名	事 項	計 画	実 績
障害施設	七生福祉園	グループホーム見学	20回	50回
		介護施設見学	2回	3回
	東村山福祉園	グループホーム見学	6回	20回
		障害者支援施設見学	6回	13回
	千葉福祉園	グループホーム見学	4回	7回
		介護施設見学	4回	2回
	八王子福祉園	グループホーム見学	2回	3回
		介護施設見学	2回	0回
	立川療護園 はごろもの音	グループホーム見学	2回	2回
	希望の郷 東村山	グループホーム見学	1回	3回

2 支援技術の蓄積及びそれを活かした高度なケアの提供

■計画的・効果的な研修の実施

内部研修、外部研修、施設内研修（園主催）のほか、東京都が主催する都派遣職員を対象とした研修（階層別研修・課題別研修等）へ参加している。

（1）事務局研修

	研修名	事 項	研修内容	参加人数	実施時期
職 級 別 研 修	新任時研修	スタートアップ研修(無資格新任職員研修)	福祉の仕事の基本理念／利用者支援の基本 等	7人	6～7月
		新任職員研修（前期）	事業団の理念と求める職員像（理事長訓示）／事業団の事業概要／服務管理／虐待防止／児童養護施設について／障害施設について／就業規則・給与・人事制度	110人	4月
		新任職員研修（中期）	自己理解・自己覚知、レジリエンス、失敗から学ぶ、良好な人間関係 等	4回、113人	7月
		新任職員研修（後期）	組織と仕事、福祉施設における効率性、オーナーシップ、情報共有、チームワーク、積極性	4回、108人	11～12月
		内部選考合格者研修	事業団の経営理念と求める職員像・正規職員としての期待（理事長訓示）／服務管理 等	7人	9月、3月
		事務職・新任職員研修	組織と仕事／接遇／ビジネス文書作成等	3人	4月
	1級職	1級職現任研修	ロジカルシンキング	5回、121人	10～11月
	2級職	2級職昇任時研修	2級職への期待(理事長講和)／現場リーダーによる講話 等	2回、45人	3月
		2級職現任研修	プレゼンテーション	4回、122人	10～11月
	3年目研修		人材育成、事業団の課題、求められる役割 等	2回、48人	10～11月
	3級職	サブマネージャー昇任時研修	サブマネージャーへの期待(理事長講和)／サブマネージャーの役割／グループリーダーの職務 等	6人	12月
		サブマネージャー現任研修	問題解決技法	26人	10月
	4級職	マネージャー昇任時研修	マネージャーへの期待(理事長講和)／プレゼンテーション／指導・講評	5人	9月
	管理職	ジェネラルマネージャー昇任時研修	ジェネラルマネージャーへの期待(理事長講和)／事業団職員人事制度／業績評価 等	2人	8月
		事業団管理職研修(都派遣職員)	事業団概要と課題／事業団職員人事制度 等	2人	4月
	経営層	経営層研修	組織マネジメント	6人	2月

	研修名	研修内容/事業団以外の主催	参加人数	実施時期
課題別研修	リスクマネジメント研修（基礎編）	/東京都福祉保健財団主催	0人	11月
	リスクマネジメント研修（応用編）	/東京都福祉保健財団主催	0人	2月
	メンタルヘルスクエア研修-セルフケア	/東京都医師会主催	1人(所属を記入した人のみ)	通年
	メンタルヘルスクエア研修-ラインケア（管理・監督者）	/東京都医師会主催	2人(所属を記入した人のみ)	通年
	福祉現場におけるメンタルヘルスクエア	セルフケア、援助的コミュニケーション技法	1074人	8月
	クレーム対応（基礎編）	クレーム初期対応、基本的対処法 等/ 東京都人材支援事業団主催	9人	8月
	クレーム対応（組織対応編）	クレーム対応のステップ、悪質なクレーマー、組織対応 等/ 東京都人材支援事業団主催	8人	8月
	e-ラーニング研修（情報セキュリティ、個人情報保護、コンプライアンス、虐待防止等）	—	1074人	9～10月
	人権問題研修	子どもの人権、障害者の人権、同和問題、施設における人権 等	316人	2～3月
	コンプライアンス推進研修	コンプライアンスとは、コンプライアンス推進に向けた取組 等	343人	1～2月
	障害者虐待防止マネージャー研修	虐待防止マネージャーとして求められる視点、取組/全国社会福祉協議会主催	—	
	虐待等防止研修	講義と演習	障害249人 児童養護94人 管理監督者40人	11～1月
	アンガーマネジメント研修	アンガーマネジメント技法	1,208人	7～8月
	強度行動障害に関する理解	強度行動障害に関する講義	—	4～5月
	スーパーバイズ力研修	/子どもの虹情報研修センター主催、全国児童養護施設協議会主催、中央福祉学院主催	0人	9～3月
	新任職員育成チューター研修	チューターの役割、新任職員の育成指導、実践的な育成技法 等	64人	4～5月
	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修	/東京都	0人	10・12月
	施設長資格取得研修	/中央福祉学院主催	0人	4月
	キャリアパス対応研修（初任者研修）	/東京都社会福祉協議会主催	10人	7～9月
	キャリアパス対応研修（中堅職員研修）	/東京都社会福祉協議会主催	7人	10～11月
	キャリアパス対応研修（チームリーダー研修）	/東京都社会福祉協議会主催	14人	1～2月
	キャリアパス対応研修（管理職員研修）	/東京都社会福祉協議会主催	1人	5～6月
	中核職員マネジメント力向上研修	チーフ等の心構えと期待される役割、記録から読み取る不適切支援等の兆候、職員の指導技法、リスクマネジメント 等	24人	5月
	グループリーダー・マネジメント力向上研修（係長パワーアップ研修）	/東京都人材支援事業団主催	0人	5月～12月
	部門長・マネジメント力向上研修（統括課長代理研修）	/東京都人材支援事業団主催	0人	6月
	講師養成講座/人権・同和問題科（本科）	/東京都人材支援事業団主催	1人	6～8月
	講師養成講座/コンプライアンス推進科	/東京都人材支援事業団主催	1人	7～8月

(2) 施設実施研修

※「ー」は、コロナ感染対策のため中止

	施設名	研修内容（テーマ）	参加人数	実施時期
児童養護施設	石神井学園	新規転入職員研修（職員マナー・仕事の進め方）	11人	4月
		新規転入職員研修（養育について・チーム支援）	11人	4月
		新規転入職員研修（フォローアップ研修）	11人	5月
		接遇マナー研修	14人	1月
		メンタルヘルス研修	10人	10月
		マルトリートメント防止研修（悉皆）	全職員	12月・1月
		CVPPP（包括的暴力防止プログラム）講習会	11人	9月
		CAP（子どもへの暴力防止プログラム）研修	15人	8月
		CARE（子どもと大人の絆を深めるプログラム）講習会	12人	11月
		専門性向上研修（発達障害の理解など）	19人	9月
		児童権利ノート学習会	82人	10月
		きらり☆いのち（性と生）学習会	14人	1月
		他施設見学（児童心理治療施設、自立援助ホーム、障害施設）	36人	通年
		他施設交流研修（児童自立支援施設・一時保護所・事業団障害児施設等）	10人	11月
	小山児童学園	新転入職員基礎研修（オリエンテーション）	延24人	4月・6月・7月 10月・1月
		権利擁護研修	支援職全員	4月・10月・12月・3月
		マルトリートメント（不適切な養育）予防研修	2人	4月
		アンガーマネジメント研修	延54人	5月・12月・2月・3月
		事例検討会	36人	9月
		園全体研修	延34人	10月
		CAP（子どもへの虐待防止プログラム）大人ワークショップ	7人	12月
		施設見学、他機関の理解	延29人	5月・10月・2月
		園外専門研修	延48人	通年
		CARE（児童相談センター治療指導課）	9名	7月
	船形学園	次世代職員育成研修	3人	4月・9月
		養護課題研修（職場内）	16人	2月
		施設視察 中野区児童相談所	8人	2月
		事業団スーパーバイズ研修	延10人	7月・9月・11月
		CAP研修	12人	7月
		外部医師によるスーパーバイズ研修	延56人	12月・1月・3月
	八街学園	園内研修（課題別対応・性教育等）	17人	9月
		新任職員学習会（資質向上に向けて）	延30人	7月～3月（5回）
		事例検討会（被虐待児対応等）	延28人	8月～2月（3回）
		マルトリートメント（不適切な養育）防止研修	11人	1月・2月
		アンガーマネジメント研修	34人	1月・2月
	勝山学園	職場内研修（子どもの権利ノート）	17人	7月
		職場内研修（WISK検査）	22人	12月
		職場内研修（児童の権利）	25人	2月
		新任等職員育成研修（採用1～3年目）	2人	4月・7月・11月・1月
		支援困難児 事例研究会	16人	1月
		外部研修派遣・参加（宿泊研修含む）	6人	5月
		施設視察研修	6人	2月

	施設名	研修内容（テーマ）		参加人数	実施時期	
児童養護施設	片瀬学園	新任職員研修・ヒヤリ・ハット研修		延8人	4月・6月	
		CARE研修		延9人	7月	
		養護課題研修「江のっ策を作ろう！！」「江のっ策作成に向けて」		延53人	6月・10月	
		マルトリートメント（不適切な養育）防止研修「育て・育ちを考える」		23人	1月	
		感染管理研修		延51人	5月・11月	
		困難事例検討会等		延39人	5月～11月、1月～3月	
障害施設	七生福祉園	基礎・基盤	インシットロダ	新任・転入職員オリエンテーション	18人	4月上旬
				年度途中採用時研修	1人	採用の都度
				地域支援研修（GH見学を含む）	13人	8月、9月
			基礎力	記録の書き方	16人	10月
				感染症研修	16人	10月
				接遇研修	8人	1月
			反復学習	コンプライアンス推進研修	延34人	1月～3月
				人権研修（福祉局研修を含む）	延31人	1月～3月
				救命救急講習会	延44人	7月～10月
			七生福祉園	応用・発展	園共通	チューター研修
	中堅職員研修	15人				6月、2月
	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）	15人				11月
	アンガーマネジメント研修	11人				12月
	ななお再発見	6人				10月、1月
	虐待防止研修	11人				12月
	事例研究発表会	30人				12月
	障害児領域	立川療護園と合同接遇研修			9人	1月
		ななおゼミ（児童8回）			延30人	5月～3月
		障害者領域			高齢化対策研修	延19人
	ななおゼミ（成人6回）				延25人	5月～2月
	見学・交換				立川療護園 はごろもの音 見学	7人
		石神井学園 見学			10人	1月
		小山児童学園 交換研修			1人	2月
		東村山福祉園			新任・転入職員研修	延111人
	強度行動障害支援者養成研修				延13人	9月～12月
	強度行動障害支援者養成研修（講師養成研修）				3人	6月
	虐待防止研修（悉皆）				全職員対象	10月
	行動障害研修		延19人	3月		
	園内事例研究発表会		49人	12月		
	講師依頼研修		延63人	1月～3月		
	スーパーバイザー研修		延8人	5月・9月～12月		
	業務研修（感染症・吐物処理）		延44人	5月・2月		
	千葉福祉園	新任研修、OJT研修（スキル伝承含む）（全2回）	32人	4月		
		園内体験研修「園ナカ留学」	19人	6月から		
		チューター制度（全2回）	16人	通年		
		介護技術研修	13人	年2回		
転倒防止研修		16人	年1回			
認知症研修・精神科研修・感染症研修		50人	各年1回			
救急救命研修（全3回）		49人	年3回			
事例研究発表会		35人	年1回			
福祉セミナー		34人	年1回			

	施設名	研修内容（テーマ）	参加人数	実施時期
障害施設	千葉福祉園	スーパーバイズ研修（虐待防止研修）	17人	年1回
		虐待防止研修（職層別）（全2回）	36人	年2回
		施設派遣研修	—	—
		コミュニケーション研修	36人	年1回
		メンタルヘルスセミナー	20人	年1回
		チーフ研修	16人	年1回
		オンラインによる外部研修（全4クール）	182人	通年
		自主研修の奨励（SDS）	1人	随時
	八王子福祉園	虐待等防止研修（10回実施）	81人	4月・8月・11月～2月
		新任研修（4回）	延58人	4月・6月・10月・3月
		【新規】〈課題別研修〉強度行動障害の理解（①基礎編・②応用編）	①7人 ②12人	①10月 ②11月
		〈課題別研修〉職員のためのリフレッシュ講座 ヨガ	12人	2月
		〈危機管理〉リスクマネジメント研修 ①初級 ②リスクリーダー研修 ③リスクマネジメントと権利擁護の両立	延人数 ①18人 ②13人 ③16人	①5月 ②7月 ③11月
		〈危機管理〉薬に関する研修 正しい薬の飲み方、副作用等	20人	6月
		【新規】〈危機管理〉危険箇所把握研修	19人	6月
		〈危機管理〉感染症対策研修	24人	10月
		〈危機管理〉救急救命講習会	36人	4月～2月
		〈資格認定〉サービス管理責任者更新研修	4人	9月・10月
		〈資格認定〉サービス管理責任者基礎研修	1人	8月
		サービス発表会（棟単位で設定したテーマ）	36人	12月
		看取り研修	22人	8月
		棟内研修（オムツ研修・コミュニケーション研修・嚥下口腔ケア・SST・介護技術等）	延べ151人	6月～2月
	立川療護園 はごろもの音	新任・転任職員研修	33人	4月・10月
		救命救急講習会	14人	4月・3月
		褥瘡ケア研修	17人	9月
		スキルアップ研修（介護支援）	12人	8月
		口腔ケア研修	12人	8月
		他施設派遣研修	12人	11月
		スキルアップ研修（ヒヤリ・ハットの活かし方）	25人	12月
		スーパーバイズ研修（モチベーション）	17人	1月
	希望の郷 東村山	新任・転入職員研修1（権利擁護、心構え、山登り等）	17人	4月4回
		新任・転入職員研修2（感染症対応、嚥下、強度行動紹介、個別支援計画、介護基礎等）	17人	5月
		新任・転入職員研修3（PPE着脱、心理活動、冰山モデル、フォローアップ）	17人	9月
		新任・転入職員研修4（相談支援、1年振返り）	17人	3月
		業務・専門研修（口腔ケア）	11人	6月
		業務・専門研修（てんかん）	16人	8月
		業務・専門研修（スヌーズレン）	17人	10月
		業務・専門研修（意思決定支援）	15人	11月
		業務・専門研修（音楽療法）	10人程度	2月
		業務・専門研修（おむつ研修）	12人	5月
		業務・専門研修（アンガーマネジメント研修）	12人	8月
		虐待防止研修（悉皆）	全職員	4月～5月（5回）
		虐待防止研修Ⅱ（悉皆）「7人のサムライリターンズ」	全職員	11月～12月 （全13回）
		介護技術実践研修	12人	8月16日
		強度行動紹介研修（年間5回）	各6人	7月2回、9月 10月、2月
		OJTチューター研修	10人	5月、9月、3月
		園内事例研究発表会	50人	12月

■ 高い専門性を発揮できる職員の育成

	施設名	事 項	計 画	実 績
障害施設	七生福祉園	強度行動障害の基礎・実践研修の受講者	基礎2人・実践2人	基礎1人・実践1人
	東村山福祉園	強度行動障害の基礎・実践研修の受講者	基礎5人・実践5人	基礎10人・実践3人
	八王子福祉園	強度行動障害の基礎・実践研修・指導者養成の受講者	基礎3人・実践3人 指導者養成2人	基礎9人・実践7人 指導者養成3人
		喀痰吸引の資格取得者（特定・不特定）	不特定1人	不特定0人
	立川療護園 はごろもの音	喀痰吸引の資格取得者（特定・不特定）	特定5人・不特定1人	特定5人・不特定1人
	希望の郷 東村山	強度行動障害の基礎・実践研修の受講者	基礎16人・実践2人	基礎14人・実践2人
		強度行動障害東社協アドバンス研修	1人	1人
		強度行動障害指導者養成研修（講師養成研修）	2人	3人

■ 専門的な支援の充実(心理職員による利用者へのケア)

	施設名		計 画	実 績
児童養護施設	石神井学園	個別面接	延700人 (全99人中43人、43.4%)	延551人 (全94人中57人、60.6%)
	小山児童学園		延600人 (全59人中50人、84.7%)	延710人 (全55人中47人、85.5%)
	船形学園		延432人 (全44人中30人、68.2%)	延376人 (全35人中25人、71.4%)
	八街学園		延700人 (全44人中19人、43.2%)	延574人 (全38人中23人、60.5%)
	勝山学園		延120人 (全39人中13人、33.3%)	延300人 (全42人中23人、54.8%)
	片瀬学園		延500人 (全32人中25人、78.1%)	延483人 (全33人中31人、93.9%)
障害施設	七生福祉園	個別面接	延1,032人 (全214人中90人、42.1%)	延1,064人 (全207人中91人、44.0%)
	東村山福祉園		延310人 (全58人中40人、69.0%)	延251人 (全64人中38人、59.3%)
	千葉福祉園		延550人 (全202人中16人、7.9%) ※成人と児童の合計	322人 (全202人中16人、7.9%) ※成人と児童の合計
	八王子福祉園		延456人 (全126人中17人、13.5%)	延19人 (全120人中2人、1.7%)
	希望の郷 東村山		延282人 (全113人中36人、31.9%)	延334人 (全113人中37人、32.7%)

■ 家庭的な寮運営

	施設名	自主調理（寮で買い物、調理）		出張調理（調理員が寮で調理）	
		計 画	実 績	計 画	実 績
児童養護施設	石神井学園	60回	100回	14回	14回
	小山児童学園	30回	46回	23回	23回
	船形学園	24回	24回	18回	18回
	八街学園	24回	22回	24回	22回
	勝山学園	21回	21回	21回	21回
	片瀬学園	120回	98回	18回	15回

■ 実習生の受入れ等

※「0人」は、コロナ感染対策のため

	施設名	事 項	延計画人数	延実績人数
児童養護施設	石神井学園	社会福祉士・保育士等実習生の受入れ	500人	598人
		職員派遣研修等の受入れ	50人	11人
		民間施設職員の研修等の受入れ	50人	16人
	小山児童学園	保育士実習生の受入れ	503人	453人
		社会福祉士実習生の受入れ	109人	72人
		施設見学の受入れ	50人	101人
	船形学園	保育士等実習生の受入れ	308人	216人
		施設見学・研修の受入れ	30人	25人
	八街学園	保育士等実習生の受入れ	600人	470人
		事例検討会への受入れ	5人	2人
		施設見学会への受入れ	20人	26人
	勝山学園	保育士等実習生の受入れ	492人	468人
		研修生の受入れ・施設見学	20人	39人
	片瀬学園	保育士等実習生の受入れ	260人	324人
		大学ゼミ生の施設見学	20人	20人
障害施設	七生福祉園	保育士等実習生の受入れ	800人	549人
		教職課程の介護体験受入れ	30人	70人
		高校生等実習生の受入れ	100人	15人
		施設見学の受入れ	140人	60人
	東村山福祉園	保育士等実習生の受入れ	660人	907人
		社会福祉士養成校の受入れ	20人	138人
		教員・児童相談所等の研修受入れ	10人	20人
		施設見学の受入れ	10人	30人
	千葉福祉園	施設実習	420人	371人
		高校生ボランティア体験	10人	0人
		施設見学	20人	18人
	八王子福祉園	保育士等実習生の受入れ	360人	262人
		職場体験の受入れ	10人	0人
		施設見学受入れ	20人	26人
	立川療護園 はごろもの音	介護福祉士等養成実習の受入れ	100人	190人
		教職課程の介護体験等受入れ	75人	57人
		人事院介護等実地体験	15人	0人
		施設見学の受入れ	15人	119人
	希望の郷 東村山	保育士等実習生の受入れ	280人	283人
		社会福祉士実習の受入れ	48人	110人
		施設見学の受入れ	50人	63人

3 施設機能を活用した地域等との連携

■ 地域における公益的な取組

※「ー」は、コロナ感染対策のため中止

	施設名	実施内容	実施回数等
児童養護施設	石神井学園	地域公開講座「日本資本主義の父、もうひとつの顔・生涯養育院の「院長さん」として渋沢栄一」 (稲松孝思氏・清水裕介氏)	年1回 地域住民100人
	小山児童学園	啓発リーフレットの作成	年2回 地域自治会向け
	船形学園	園が開催する研修やCAP大人向けワークショップなどへの学校近隣施設・地域から参加	園内14名 近隣施設2名
	八街学園	CAPワークショップ	1回・地域住民5人
		職場内研修	1回・県内福祉施設職員14人
	勝山学園	研修主催	他施設、教育機関職員8人
	片瀬学園	地元町会と連携した学園を会場とする町内お楽しみ会	町内会住民 12月・30名程度
		子育て講演会「子どもの力を引き出す言葉がけ 3つの秘訣！」	藤沢市片瀬地区住民 3月・48名
障害施設	七生福祉園	都立七生特別支援学校高等部に通学する生徒を対象に、児童自活寮の体験利用を受入れ	4人
		就労移行支援事業において、特別支援学校の通学生を対象とした就労体験（職場実習）の受入れ	
	東村山福祉園	障害特有の悩みに対する無料よろず相談	電話相談 2件
	千葉福祉園	近隣自治会等からの依頼を受け、園歯科医師による「咬むことで健康長寿」をテーマに講演を実施	
	八王子福祉園	ー	
	立川療護園 はごろもの音	市内社会福祉法人の地域貢献活動推進ネットワークである「ふくしネットたちかわ」に参画 立川市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターとも連携し、地域交流スペースでイベントを開催	
	希望の郷 東村山	障害者特有の悩みに対する無料よろず相談	市内・都内・他県、家族・他施設職員等からの相談

■ 多様な主体との連携

	施設名	ボランティア	NPO等
児童養護施設	石神井学園	163人(4領域)	
	小山児童学園	105人(3領域)	117人(3領域)
	船形学園	0人(0領域)	
	八街学園	25人(2領域)	38人(2領域)
	勝山学園	144人(4領域)	
	片瀬学園	173人(3領域)	
障害施設	七生福祉園	421人(1領域)	
	東村山福祉園	133人(3領域)	
	千葉福祉園	131人(3領域)	70人(4領域)
	八王子福祉園	46人(2領域)	
	立川療護園 はごろもの音	127人(4領域)	
	希望の郷 東村山	14人(1領域)	

■ 地域との連携・協力関係の強化

※「一」はコロナ感染対策等のため、中止・未実施

	施設名	内 容	対象者・実施回数・参加者数等
児童養護施設	石神井学園	グラウンド・アリーナの貸出し	近隣施設・地域団体など
	小山児童学園	地域自治会等との懇談会	都度メール等による形式で対応
		小・中学校との連絡会の開催	小学校：年1回・11人、中学校：年1回・13人
		高齢者グラウンドゴルフグループへの会場提供	登録数19人、年間37回、延434人参加
		総合防災訓練	年1回・20人
		盆踊り大会	年1回・295人
		餅つき大会	年1回・90人
	船形学園	施設開放（空手教室）	—
		施設開放（バドミントン）	—
		施設開放（地区総会）	—
		ふれあい祭	101人
		中学校連絡会・連絡協議会	9回
		小学校連絡会・連絡協議会	5回
	八街学園	子ども会（役員会）	年1回・10人
		子ども会行事（バスハイク、農業体験等）	各1回・30人
		夏祭り	地域住民 約100人
		祭礼（秋祭り）	地域住民 約100人
	勝山学園	かっチャま祭	地域住民等 58人
		施設の開放	地域住民等 100人
	片瀬学園	しおかぜまつり	退園生・片瀬地区青少年育成協力会・地域民生委員 11月・185人
		地域開放	1回 30名程度
		地域防犯パトロール	年11回
		小学校「おはようボランティア」	毎週月曜日・年間33回
障害施設	七生福祉園	児童自活寮体験利用	都立七生特別支援学校高等部生徒を対象 4名利用
		プール等の開放	地域の障害者団体4事業所、実施回数19回、参加人数133人
	東村山福祉園	自治会行事への積極的参加	自主防災倉庫内の防災機材の点検、安否確認訓練、近隣公園の美化作業、自治会主催の盆踊り大会、年末の防犯パトロールなどの自治会の各種活動に参加
		災害時緊急連絡体制の連携・強化	東村山市との防災協定による福祉避難所への要援護者の受入れや清瀬特別支援学校との緊急連絡体制の確保
		地域行事への参加（東村山市ボランティアまつり）	—
		施設開放	町会の会合等

	施設名	内 容	対象者・実施回数・参加者数等
障害施設	千葉福祉園	地域の行事への参加	地域福祉フェスタ 1回 手をつなぐ作品展等 1回
		展覧会への出品	長浦おかのうえ図書館作品展 1回
		行事の招待、行事備品の貸出し	—
		歯科診療の受入れ	短期利用者を対象
		福祉セミナー・研修などへの受入れ	—
		袖ヶ浦市地域支援協議会	年6～8回
		袖ヶ浦市介護認定調査会	月1回（オンライン）
		君津圏域グループホーム等連絡協議会	君津圏域福祉施設関係者 年3回
		地域連携会議	福祉行政関係、関係企業、就労系事業所、特別支援学校、福祉施設関係者他 福祉避難所開設・運営訓練 1回
		障害者雇用連絡会議	君津圏域福祉施設関係者 1回
		グラウンド・大運動療法室等貸出	近隣福祉施設・スポーツ団体等 0回
		お花見会・園まつり	福祉施設関係者
	八王子福祉園	八王子市障害者地域自立支援協議会 地域移行継続支援部会	—
		八王子市社会福祉審議会障害者福祉 専門分科会	八王子市、市民、障害者、入所施設等、障害者福祉専門分科会に10回参加
		八王子市内障害者等入所施設連絡協 議会 会長施設 事務局	市内障害者等入所施設12施設会議オンライン形式で2回参加（7月・2月実施）
		恩方地区まちづくり懇談会	八王子市、地元町会、学校等、恩方地区まちづくり懇談会に参加（2月実施）
		八王子ワークセンターとの連携	八王子市役所「はっち」作品販売
		小田野中央公園まちづくりの会事務 局	役員会等に年間10回参加・秋のワークショップ（9月実施）・さくらまつり（3月実施）
		研修会の開催・講師の派遣	—
		市民センターまつりへの参画・協力	地域住民、恩方市民センターまつり実行委員会（8月・9月・10月実施）・恩方市民センターまつり（10月実施）
		地元祭礼等への協力	—
		盆踊り（町会との共催）	—
		八王子市相談支援連絡会	市内相談支援事業所会議1回
	立川療護園 はごろもの音	地域と園を繋ぐイベント開催	地域住民・親族を対象として、11月に立羽祭を開催。200名前後の参加者が来場 地域住民を対象として、2月に地域交流スペース（tsunagari）を活用してイベント「ヒューマンライブラリー」を開催。20名の参加者が来場
		立川療護園 はごろもの音開所イベ ント	—
	希望の郷 東村山	自治会行事への積極的参加	班長会への参加、清掃活動等への参加
		災害時緊急連絡体制の連携・強化	非常時対応手当受給職員の参集訓練（毎月実施）
		地域行事への参加	福祉のつどいへの参加（実行委員として参画）
		東村山市選挙投票所	東村山市選挙管理委員会 会議室貸出 1回

■災害・防犯対策の取組強化

	施設名	事 項	計 画	実施回数等	内容・協力機関等
児童養護施設	石神井学園	防災訓練	12回	12回	石神井消防署
	小山児童学園	防災訓練 (避難・消火訓練)	11回	11回	東久留米消防署
			1回	1回	地域自治会と共催の総合防災訓練は、10月に東久留米消防署の協力・指導を受け実施
		「リスクマネジメント委員会」における検討	1回	1回	「リスクマネジメント委員会」において、「事業継続計画（BCP）及び対応マニュアル」の改正内容を検討
	船形学園	防災訓練	12回	12回	地震・火災発生、通報避難訓練
		緊急参集訓練	1回	1回	Web171による緊急連絡
	八街学園	防災・防犯訓練	12回 1回	12回 0回	避難・消火訓練、夜間想定訓練 警察署との連携による不審者訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	勝山学園	伝達訓練	1回	1回	緊急連絡網による携帯電話伝達
		防災訓練	12回	12回	夜間1回
		不審者対応講習会	1回	1回	館山警察署協力
	片瀬学園	防災訓練	12回	12回	火災・地震・津波避難訓練
		防災対策委員会	2回	2回	防災対策委員会については会議体の見直しのため、運営会議の場で検討（3月末までに2回実施済）
障害施設	七生福祉園	児童施設防災訓練	9回	9回	火災や地震、日中・夜間・休日等を想定した避難・通信訓練等
		成人施設防災訓練	5回	5回	
		活動支援棟防災訓練	12回	12回	火災等発生時を想定した避難訓練
		グループホーム防災訓練	各ユニット2回	12回	
	東村山福祉園	消防訓練	11回	12回	夜間想定避難訓練等
		総合防災訓練	1回	1回	希望の郷東村山と合同、東村山消防署・近隣住民参加
		不審者対応訓練	1回	0回	
	千葉福祉園	総合防災訓練	2回	2回	避難訓練、消火訓練（消防署）、給水・炊き出し訓練
		ブロック・寮別訓練	月1回	月1回	避難訓練、消火訓練
		不審者対応訓練	1回	1回	木更津警察署生活安全課による、不審者への対応、対応・連絡・通報・避難等
	八王子福祉園	防災訓練	毎月	13回	八王子消防署
		防犯訓練	1回	1回	園内への不審者の侵入を想定した防犯訓練 高尾警察署
		防火管理委員会	4回	4回	令和4年度活動報告 令和5年度防災訓練実施計画等
	立川療護園 はごろもの音	防災訓練等	6回	4回	炊出し訓練、夜間想定訓練及び災害用伝言板使用の訓練等
		防災部会	4回	3回	防災訓練等の事前協議及び居室内の家具・棚類の転倒・落下防止の点検等
	希望の郷 東村山	消防訓練	12回	12回	震災火災を想定し、避難・消火訓練（夜間想定訓練を含む）
		総合防災訓練	1回	1回	東村山福祉園、地域住民合同

4 運営体制の強化及び経営の透明性確保

■コンプライアンスの推進

施設名	事 項	計 画	実施回数等	内容・協力機関等
全施設	コンプライアンス研修受講率	100%	100%	

Ⅶ 令和5年度苦情・要望対応報告

1 児童養護施設

(1)石神井学園

計30件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	4月17日	児童 小4女児	ゲームをインターネットにつなげて、いろんなゲームをしたい。	ゲームを外部につなげることは、ゲームにチャット機能があることなどから、不特定多数の人と接することになり、危険であることを伝えると納得したようであった。	本人への回答
2	4月18日	児童 小5男児	おやつ代をなくして、その無くした分をおこづかいに足してほしい。	使い道に対しては、それぞれ予算が決めており、その中で計画的に使うことも大事。あやつを大切に思う人もいることも考えてほしいと伝えると、理解を得られた。	本人への回答
3	8月31日	児童 高1女児	学園内で動物を飼うことはできないので、月1回、動物とふれあう機会がほしい。	動物が好きでない子やアレルギーのある子もいるので、触れ合う機会を作ることは難しい。その代わり、寮職員にネコカフェに行くことなどを相談することを提案した。	本人 寮職員

(2)小山児童学園

計7件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	7月28日	近隣住民	盆踊り大会の練習（踊りと太鼓）の音がうるさい。	4年ぶりに盆踊り大会を開催することになり、その直前練習を行っていた。苦情の電話主には丁寧に謝罪し行事の趣旨を説明した。最終的にご理解をいただいた。	申立人へ謝罪
2	8月7日	GH建物 2階住民	GH（3階）の児童が床を走り回る音がうるさい。子どもが暮らす施設であることは理解しており、ある程度は騒音も受け入れているが、その限度を超えて音がうるさい。	管理会社を介して苦情が寄せられた。丁寧に謝罪し、GH職員に注意するように伝える旨、説明した。2階住民の方にも不快な思いをさせてしまい申し訳ないと謝罪を伝えていただくよう管理会社に依頼した。すぐにGH職員へ連絡し、床を音を立てて歩き回ったり、走ったりしないように子どもへ注意して欲しい旨、伝えた。	管理会社を通じて、申立人へ謝罪
3	11月15日	近隣住民	苦情主が住む近隣の団地のゴミ置き場に入所児童が自分のゴミを不法投棄した。（団地のゴミ置き場に学園児童のゴミが置いてある。カラスがゴミを散乱させており非常に困るとの訴え。）	当該児童の寮FLが児童と共に苦情主の自宅を訪問し直接謝罪した。児童は、園内のゴミの捨て方を分かっておらず、フロアリーダー（FL）がしっかりと指導した。	申立人へ謝罪

(3)船形学園

計1件

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	8月20日	児童 中1男児	園内に設置している意見箱に「〇〇（高3男児）に物を投げられたり、壊されたりした。あごに当たり痛かった」と投函されていた。	園長との面談を行い、投書に至るまでの状況と今後どのようにして欲しいかヒアリングをした。 本人からは謝罪をしてもらっているの、改善要望は特にないとのことだった。	本人職員

(4)八街学園

計5件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	7月	児童	ゲームセンターのメダルバンク（メダルを預けるサービス）を利用することを許可してほしい。	本児はこれまでにメダルをめぐって他児童とのトラブル等が起きていたため、寮職員が本児と話し合いの機会を持ち、メダルバンク利用にあたっての心配事項を伝えた。そのうえで当面の間メダルバンクの使用を認め、本児がトラブルに巻き込まれないように様子を見守っていくこととした。	本人寮職員
2	8月	児童	職員が僕の勉強方法などを否定してきた。なぜ僕のやり方を否定するのか理解できないし、とても理不尽だ。	苦情相談の日に、第三者委員が本人から直接話を聞いている。第三者委員に話を聞いてもらい、アドバイスを受けることで、冷静な受け止めができ、本児の表情が明るくなった。また、自分の人生や物事を前向きに考えられるようになった様子であった。	本人寮職員
3	8月	児童	同じ寮の児童（年上児童）がイヤ。その児童を寮から移動させてほしい。	同じ寮の高齢児とのトラブルに関する苦情である。毎日、生活する場を共にする中で、徐々に不満を抱くようになっている。寮のフロアリーダーをはじめとする職員が日頃から本児の話に耳を傾け、本児の思いをくみ取り、親身になって対応を図っている。	本人寮職員

(5)勝山学園

計3件

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	8月31日	小6女兒 他2名	中学生が学園外の友人をたくさん学園に連れてくるのでうざい。	自分の友達が遊びに来て追い返されたらどう思うかと問うと納得する。加えて中学生にも節度を保つよう声かけ理解をさせた。	本人職員
2	2月2日	小5女兒 他2名	園外の人に来るのが嫌だ。	自分の友達が遊びに来て追い返されたらどう思うかと問うと納得する。加えて中学生にも節度を保つよう声かけ理解をさせた。	本人職員
3	3月14日	小2女兒	苦情解決委員に対し「人に嫌われたときどうすればいいですか」と相談があった。	信頼できる職員に話しをしてストレスをためないこと、徐々に付き合い方を学ぶこと等を助言した。	本人職員

(6)片瀬学園

計11件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	5月24日	児童 小6女兒	おやつとなるジュースは大きい1本（2ℓサイズ）じゃなくて、1人1本（500ml以下）がいいです。（生活寮で分けて飲んでいく際）多く飲む人と、少なくなってしまう人がいるからです。	学園長対応（面談） 本児から意見内容の確認を行った後、関係職員に本児の思いを伝えた。職員側の支援、配慮で不公平とならないよう、児童間の思いやり、気遣いを持っていけるよう確認した。	本人職員
2	9月12日	児童 小4男児	同じ部屋の児童の影響により自分はよく寝られない。夜歌っていたり、急に物音を出すこともある。早く部屋替えをしてほしい。	学園長対応（面談） 本児から意見内容の確認を行った後、本児の気持ちを担当職員に話しておく、今の状態で嫌な思いをできるだけしないよう職員で考えてもらおうと説明した。担当職員には今後の環境調整を依頼した。	本人職員
3	2月26日	児童 中3男児	ある職員さんとの関係がうまくいかない、自分の要望が無視され、聞き入れられていない思いになる。来年度は別の担当になるようにしてほしい。	学園長対応（面談） 本児から意見内容の確認を行った後、（当該）職員さんの仕事の役割は、「より良い生活に向けた声掛け、支援」、「他児童から同じような思いを聞いたことはない」、「職員配置の要望は約束できない」と伝えた。その後、本児からの話を担当Gなどが直接受け止め、関係調整を図ったことにより、本児も納得した。	本人職員

2 障害者(児)施設

(1)七生福祉園

計10件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	5月24日	利用者 (成人)	〇〇さん（利用者）にぶたれたりひっつかれたりするのが辛い。	〇〇さんは過度に近づくとか他害に及ぶことがあるため、距離感に注意する等環境調整を行う。	園内周知
2	1月24日	利用者 (児童)	入浴中にノックだけしてダッシュでいなくなる人がいるので止めてほしい。	一時保護委託中の児童によるもので把握済。注意してみていく。	園内周知
3	1月24日	利用者 (成人)	最近入った〇〇さんが、暴れてものを壊したり、ガラスを割ったりするので困っている。	傾聴し謝罪した。ガラスをアクリル板に変える等の環境調整も行った。	園内周知

(2)東村山福祉園

計2件

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	5月31日	近隣住民	仮施設敷地内の東側の雑草を刈ってほしい	建物管理委託業者に依頼して草刈りを行った。	なし (匿名のため)
2	11月15日	診療所利用者	診療所外来の待合室の椅子が木製で、冬は冷たいので対策をしてほしい。	対応方法を園内で検討したが、1個人からの要望であり、他の人から同様な声が上がってはならず、また、待合室のソファの半分は合皮製のクッション付のソファを置いていることから、具体的な対応は見送りとした。	なし (匿名のため)

(3)千葉福祉園

計3件

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	12月	利用者 (成人)	コロナ禍で行けず楽しみにしていた園近くのパン屋への買い物ができるようになって欲しい。	担当GLに相談内容を伝え、事実確認を行った。 コロナ禍でもなんとか本人の希望に沿うよう工夫していたが、今後の買い物外出について計画を立てて実施していく。	本人
2	12月	利用者 (成人)	尿道カテーテルのチューブがヌルヌルするので定期的に替えてほしい。	担当GLに相談内容を伝え、事実確認を行った。 健康管理室の指示に基づき、定期的に交換を行っている。本人にも説明しているところだが引き続き丁寧な説明を心がける。	本人
3	12月	利用者 (成人)	車椅子の利用者が4号室に入るため、4号室から3号室に部屋を移ったが、また戻してほしい。	担当GLに相談内容を伝え、事実確認を行った。 歩行が不安定で利用者間でトラブルが多く職員の見守りが必要な方を4号室に移したため、3号室への移動となった。この点について、移る際に本人に説明し理解を得ていた。改めて確認したところ、本人より「快適です。」との返答があり、現在も気にしている様子は見られない。今後も気にする様子があればその都度説明しながら本人の理解と納得を得ていく。	本人

(4)八王子福祉園

計1件

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	11月22日	匿名	宿舍利用のA職員とB職員の騒音や宿舍の利用方法が酷すぎ、勤務に支障をきたします。それにより業務が疎かになることや健康被害が想定されるなど、事業団運営に不利益を被ることも懸念されます。本来、事務又は事業の円滑な運営に資する目的をもち居住させるために設置されているものです。	管理職より当該職員に対して聞き取りを行い、注意指導を行った。 職員住宅入居者に対して「職員住宅使用上の注意事項について」を園長名で配布し注意喚起を行った。	なし(匿名のため)

(5)立川療護園 はごろもの音

計45件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	7月2日	利用者	「どうして下に行けないの！」等、自由に外出できない不満の訴え。自由にエシペーターに乗れない、外出できないと怒っている。	当該利用者は障害特性として話したことを忘れてしまうことが多々あるため、その都度、丁寧な説明が求められる。このため、事故の予防や感染症対策の観点から必要性を伝え、納得いただくよう努めた。また、安全管理についてはGLや園長から説明する機会を設けた。	本人・園内周知
2	7月13日	利用者	居室から泣き叫ぶ声が聞こえ訪室。「トイレに行きたくてナースコールを押したが、職員から後で行きますねという返答のみで、いつ来るのか具体的な時間を教えてくれなかった」とのこと。	当該利用者に謝罪するとともに、職員に対しては「ナースコールでお待たせする際は、きちんとお待たせする時間を伝えるなど丁寧な支援を心がけるように」と周知。また、ナースコールはきちんと作動するか退出時の確認や利用者の体勢変化によりナースコールに届かないことがあり定時で見回りに行くことも伝えた。	本人・園内周知
3	1月7日、31日、2月18日、20日	利用者	食事の味付け等について、濃すぎて食べられないなど複数回の苦言あり。	調理師の交代等で味が定まらない日があり、再度調理チーフに出来上がり時の味付けについて2名での確認及びやや薄めで作成するよう栄養士から指示をした。味がしないと思いがあった際には、食堂の調味料で調整していくよう周知した。	本人・園内周知

(6)希望の郷 東村山

計8件、以下抜粋

NO	月日	申立人	内容	対応結果	公表方法
1	4月4日	近隣住民	施設南側の角の植栽が伸びていて前方が見づらい。車での通行時に、危ないので切ってほしいとのこと。	職員で環境美化デーに伐採したが、すぐに伸びてくるため、業者に剪定してもらった。	なし
2	8月16日	近隣住民	ゴミ収集車の騒音の苦情。祝日にも収集に来てうるさい。ゴミ置き場を変更してほしい等の要望があった。	収集場所の変更など難しい点は傾聴をしている。他方、収集の時間帯を日中の午後へ、また収集回数を変更した。	施設内
3	2月15日	近隣住民	大風で、ゴミ箱の蓋やゴミが飛ばされ散乱してしまったため、近隣住民より注意の苦情があった。またペットボトルも飛ばされている等、これまでの事も含め苦情があった。	ゴミが散乱しないように、駐車場わきに、ステンレス製の開閉が出来るゴミ箱を設置した。	なし

児 童 養 護 施 設

事 業 報 告 書